

消 防 年 報

平成26年版

南 但 消 防 本 部

は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び平成25年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、平成26年4月1日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

また、平成24年度以前の統計については養父市消防本部、朝来市消防本部の合算により作成しています。

平成26年7月

南但消防本部

もくじ

南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・署所の概要	3
南但消防本部組織図・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
平成25年度中の年間主要行事	12
おもな出来事	14
一目統計	16

【概要編】

管理	18
予防	19
災害活動の概要	
火災	20
救急	22
救助	24
通信	26

【統計資料編】

管理編

予算状況	29
職員給与費等の実態	29
階級別勤続年数	30
年齢別職員構成	30
研修派遣状況	31
階級別資格取得状況	32
平成24年度一般会計決算の概要(養父市消防本部)	33
平成24年度一般会計決算の概要(朝来市消防本部)	34
応援協定締結状況	35

予防編

防火対象物の概要(地域別・中高層)	37
防火対象物の概要(査察件数・防火管理・消防計画)	38
確認申請処理状況	39
消防教室実施状況	39
危険物施設数及び立入検査回数	40
危険物施設設置許可数及び変更許可の状況	40
市別・数量別危険物施設数	41
市別・類別危険物施設数	41
各種届出等受理状況	42

警防編

火災

年次別火災発生状況	44
月別火災発生状況	46
曜日別火災発生状況	46
時間別火災発生状況	47
使用した消防水利	47
覚知から現場到着までの所要時間	48
放水開始から鎮火までの所要時間	48
出火原因	49
用途別火災発生状況	50

救急

年次別救急出動状況	51
月別救急出動状況	52
曜日別救急出動状況	53
時間別救急出動状況	54
覚知から現場到着までの所要時間状況	55
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	55
年齢・傷病程度別搬送人員	56
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	56
医療機関別・事故種別搬送状況	57
医療機関別・市別搬送状況	57
救急隊の行った処置状況	58
普通救命講習実施状況	58

救助

年次別救助発生状況	59
月別救助発生状況	60
曜日別救助発生状況	61
時間別救助発生状況	62
事故種別・傷病程度別状況	63

通信

気象観測状況	64
--------	----

装備

消防用資機材の状況	65
-----------	----

協力団体

消防団

消防団組織図	67
協力団体組織図	68

南但消防本部の概要

1 位置と地勢

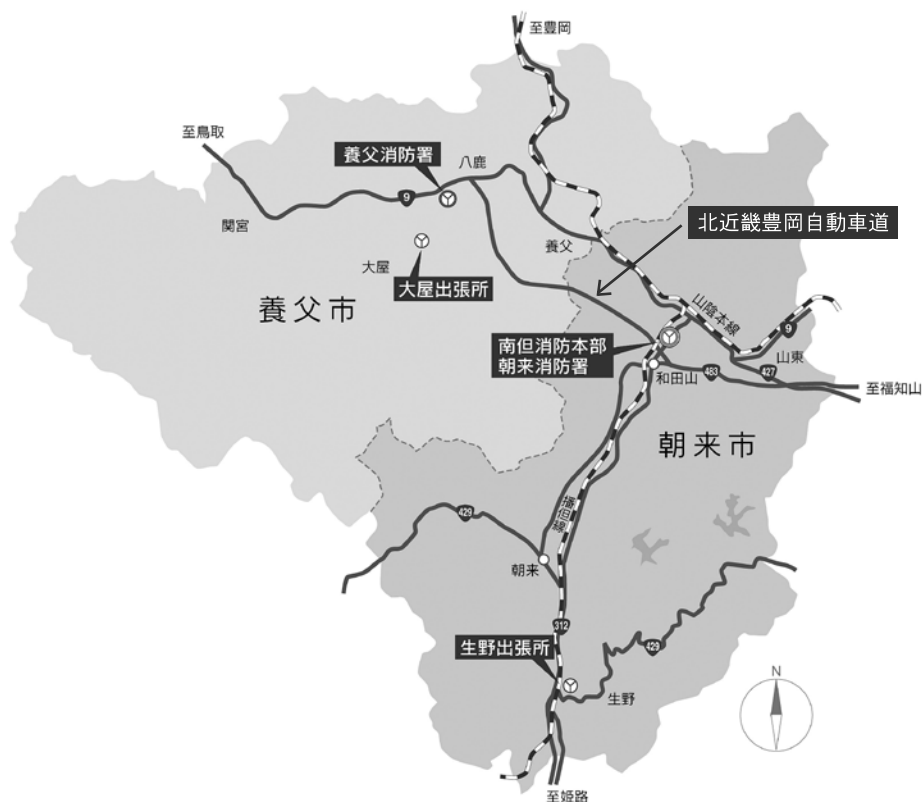
南但消防本部のある南但馬地域は、兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号線及び427号線が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号線が南北に通っています。

朝来市には国道312号線に沿って播但連絡道路とJR播但線が、国道9号線に沿って養父市・朝来市ではJR山陰線が走っています。平成24年11月には北近畿豊岡自動車道の和田山JCT・IC～八鹿氷ノ山IC間が開通し、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

管内には市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には、茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺産、国史跡の竹田城跡や史跡の生野銀山などの中世から近世にかけての遺産などが数多くあります。



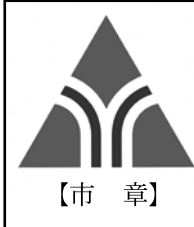
2 管轄人口と世帯数

市町名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(k㎡)
養父市	25,811	9,693	422.78
朝来市	32,517	12,293	402.98
合 計	58,328	21,986	825.76

H26.3.31現在住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市 「響きあう心 世界へ拓く 結の郷 やぶ」



三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】ミズバショウ

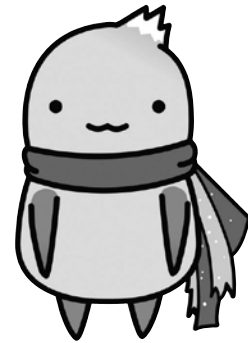
【市木】ブナ

【主な産業・経済】

大根、山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山(兵庫県最高峰)、天滝(日本の滝100選)
明延鉾山、ハチ高原、名草神社三重塔
全日本ビバホールチェロコンクール



養父市イメージキャラクター
やっぶー

朝来市 「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】さくら

【市木】けやき

【主な産業・経済】

金属バネ工業、家具作り、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡(日本100名城)、茶すり山古墳(近畿最大円墳)
生野銀山及び鉾山町の文化的景観、白井大町藤公園
神子畑鉄橋(日本最古の全鉄橋)



朝来市マスコットキャラクター
ちゃあいいん

消防本部・消防署所の概要

消防本部・消防署

南但消防本部 朝来消防署

【住所】

朝来市和田山町枚田 436 番地の 1

【建築年月】

昭和 51 年 12 月

【敷地面積】

2,651.4 m²

【構造】

鉄筋コンクリート造 3 階建一部鉄骨造



消 防 署

養父消防署

【住所】

養父市八鹿町高柳 173 番地

【建築年月】

昭和 53 年 12 月

【敷地面積】

1,368.81 m²

【構造】

鉄筋コンクリート造 2 階建



出 張 所

朝来消防署生野出張所

【住所】

朝来市生野町口銀谷 222 番地の 1

【建築年月】

昭和 52 年 11 月

【敷地面積】

585.55 m²

【構造】

鉄筋コンクリート造 2 階建



養父消防署大屋出張所

【住所】

養父市大屋町樽見 549 番地

【建築年月】

昭和 54 年 12 月

【敷地面積】

751.93 m²

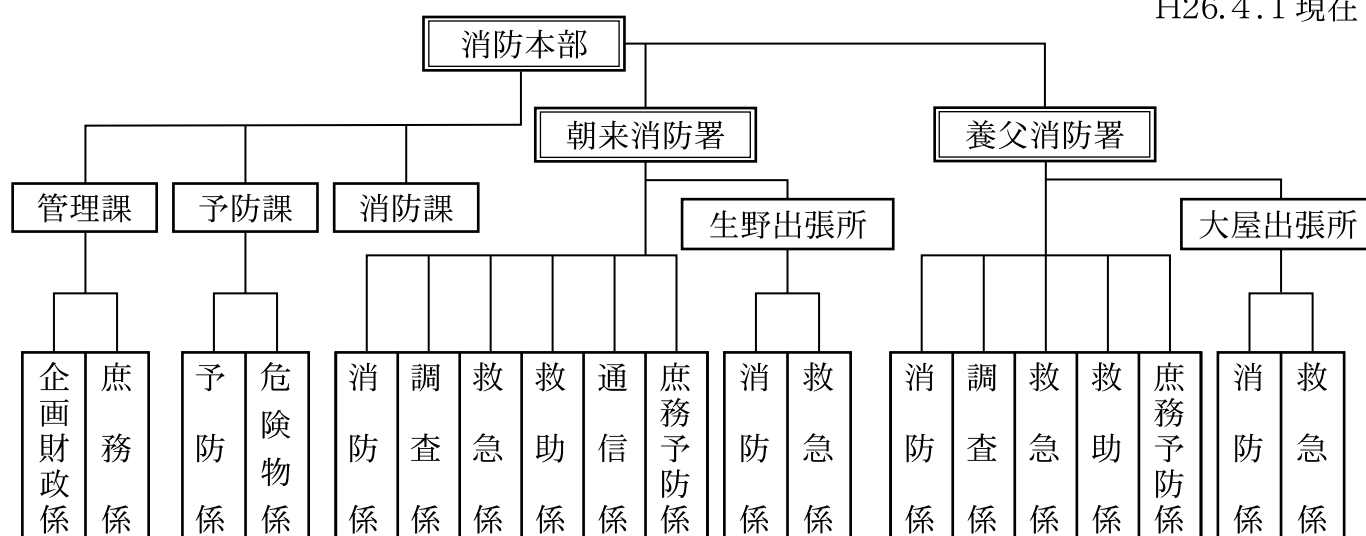
【構造】

鉄筋コンクリート造 2 階建（現在建替改修中）



南但消防本部組織

H26.4.1 現在



階級別職員配置状況

H26.4.1 現在

区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長 消防士	計	
消 防 本 部	消防長	1					1	
	次長		1				1	
	管理課		2	4		6	12	
	予防課		3	4		2	9	
	消防課		11	5			16	
朝 来 消 防 署	署長		1				1	
	副署長		1 (1)				1 (1)	
	庶務予防係			(6)		(2)	(8)	
	第一部		(3)	2 (5)	1	4 (1)	7 (9)	
	第二部		(3)	2 (5)	2	3 (1)	7 (9)	
	生 野 出 張 所	所長		(1)			(1)	
		第一部		(1)	3	1		4 (1)
		第二部			4	1		5
養 父 消 防 署	署長		1				1	
	副署長		1				1	
	庶務予防係		(2)	2	1		3 (2)	
	第一部		1 (2)	5 (1)	1	2	9 (3)	
	第二部		2 (1)	4	3 (1)	1	10 (2)	
	大 屋 出 張 所	所長		(1)			(1)	
		第一部		(1)	3		1	4 (1)
		第二部		1	2	2		5
計		1	25 (16)	40 (17)	12 (1)	19 (4)	97 (38)	

※() は兼務職員を示す。

消防車両一覧

種 別			メーカー	導入年度	エンジン
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成 15 年度	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ 型	日野	平成 15 年度	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車 15m 級	三菱	平成 7 年度	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成 13 年度	ディーゼル
	5	高規格救急車	トヨタ	平成 24 年度	ガソリン
	6	高規格救急車	トヨタ	平成 19 年度	ガソリン
	7	高規格救急車（予備車）	トヨタ	平成 16 年度	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成 19 年度	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成 21 年度	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成 23 年度	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成 21 年度	-
	12	公用車	ホンダ	平成 21 年度	ハイブリット
生野出張所	13	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A 型	三菱	平成 14 年度	ディーゼル
	14	高規格救急車	トヨタ	平成 21 年度	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成 24 年度	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成 22 年度	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ 型	三菱	平成 15 年度	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成 18 年度	ディーゼル
	4	高規格救急車	トヨタ	平成 25 年度	ガソリン
	5	高規格救急車	トヨタ	平成 22 年度	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成 19 年度	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成 21 年度	ガソリン
	8	公用車	トヨタ	平成 25 年度	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車 CD-Ⅰ 型	トヨタ	平成 23 年度	ディーゼル
	10	高規格救急車	トヨタ	平成 20 年度	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成 25 年度	ガソリン

沿 革

1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足(記念式典及び消防本部旗授与式挙行 4 / 1) 消防吏員 4 名を採用(条例定数98名) 県下広域を含めて各消防応援協定を締結(詳細は32頁に掲載)
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN119だより」創刊号を発行
8月	福知山花火大会火災に救急隊 2 隊応援出動
9月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(氷ノ山)
11月	管理者交替、秋の火災予防運動行事に一日消防官(朝来消防署)を実施 J R 西日本和田山駅にて列車事故対応の集団救急救護訓練実施 公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備 年末年始特別警戒の行事に一日消防署長(養父消防署)を実施
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	J R 播但線伯耆トンネル列車火災事故対応合同訓練実施 但馬地区救助技術研究会開催(朝来消防署)、大屋出張所耐震化工事着手 東日本大震災 3 周年を迎えて緊急消防援助隊参集訓練実施(消防本部) 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催

2 旧朝来市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和51年 4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部(署)を設置(新規採用18名を含む20名で消防業務開始) 神戸市消防局から救急車(1 B 型)を借用
5月	救急車(デリカ)を配備(和田山ライオンズクラブから寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(B D - I 型)を配備、小型動力ポンプ付積載車(B 2 級ポンプ積載)を配備
10月	初任科研修を修了した消防士15名を配置し、消防業務全般を開始
12月	和田山町枚田436番地 1 に消防本部庁舎竣工、移転 救急車(2 B 型)を配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和52年 1月	消防用無線電話開局

昭和52年	4月	消防吏員14名を採用
	6月	県道山東・柏原線の遠坂トンネル開通に際し、氷上郡青垣町と応援協定を締結
	9月	査察広報車を配備
	10月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
	11月	生野町口銀谷222番地1に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員9名を配置、消防ポンプ自動車(BD-I型)及び救急車(デリカ)を配備し消防業務開始
昭和53年	1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
	4月	消防吏員9名を採用(条例定数43名)。消防専用電話119番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
	12月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型)を本署に配備
昭和54年	3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年	2月	救急車(2B型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
	4月	中播消防事務組合と応援協定を締結
	11月	広報誌「119だより」創刊号を発行
	12月	救急指令装置C型を整備
昭和56年	4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
	8月	第10回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年	2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
	8月	第11回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
昭和58年	6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
	8月	第12回全国消防救助技術大会に3年連続で出場。氷上郡広域行政事務組合と応援協定を締結
	12月	穴栗広域消防事務組合と応援協定を締結
昭和59年	2月	北但広域消防事務組合と応援協定を締結
	3月	西脇市多可郡消防事務組合と応援協定を締結
	8月	救急車(2B型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)。福知山市と応援協定を締結
		第13回全国消防救助技術大会に4年連続出場
昭和60年	1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年	6月	河川情報システムを運用開始
	8月	第15回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
昭和62年	8月	第16回全国消防救助技術大会に2年連続出場
	9月	救急車(2B型)を更新し本署に配備(兵庫県共済農業共同組合連合会から寄贈)
昭和63年	2月	救助工作車(I型)を本署に配備
昭和63年	8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結
平成元年	2月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を整備し、出張所に配備
	9月	査察広報車を更新
	10月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型)を更新し本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
平成 2年	3月	消防訓練塔(15m主訓練塔及び補助訓練塔)が完成
	4月	緊急通報システム運用開始
	8月	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
	10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成 3年	4月	救急救命士法成立
	8月	救急車(2B型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
	9月	台風19号来襲、朝来郡内各地に被害
平成 4年	3月	兵庫県道路公社、姫路市、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定締結。兵庫県道路公社、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防無線設備及び通信施設に関する協定締結

平成 4年 9月	生野町オフトーク放送運用開始
平成 5年 4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
平成 6年 2月	消防緊急通信指令施設運用開始
4月	神戸市救急救命士養成所(前期)に職員1名を初めて派遣
11月	高圧ガス等の移譲事務取扱開始
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生(M7.3)、神戸市灘消防署に応援隊派遣(延べ12日間、32名、11台)
3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備
4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成 8年 3月	はしご付消防自動車(15m級)を整備し本署に配備
6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
10月	兵庫県消防防災航空隊発足
平成 9年 1月	ロシア船籍「ナホトカ号」座礁に伴う流出油回収へ応援出動(～1/25)
3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
6月	山東町防災行政無線システム開局
	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/15)。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成10年 4月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
平成11年 2月	兵庫県道路公社、氷上郡広域行政事務組合と遠阪トンネル有料道路における消防無線等に関する協定締結
8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年 5月	播但連絡道路開通(5/27)に伴う消防合同訓練実施
8月	第29回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
平成13年 7月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
9月	救助工作車をⅡ型に更新し本署に配備
平成14年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
4月	和田山町及び朝来町のCATV開局
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)を更新し、生野出張所に配備
平成15年 7月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を整備し本署に配備
	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
平成16年 4月	兵庫県ドクターヘリ運用開始、兵庫県・神戸市消防防災ヘリコプター共同運航開始
平成16年 7月	福井豪雨災害に緊急消防援助隊を派遣
平成16年 8月	気管挿管認定救命士誕生。台風16号襲来、管内各地で被害発生
9月	消防本部庁舎耐震化工事完成
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大(管内救助人員66名)
	兵庫県下広域応援出動要請により、豊岡市に救助隊を派遣。兵庫県下広域消防相互応援隊及び緊急消防援助隊の基地本部に指定され、県下応援隊(100隊)及び緊急援助隊(大阪府他計139隊)対応を北但広域消防本部に代わり但馬代表代行消防本部として行う
	高規格救急自動車を更新し、出張所に配備
平成17年 3月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により朝来郡広域行政事務組合が解散する(31日)
4月	朝来市消防本部誕生、(朝来郡4町が合併し朝来市が誕生)
	尼崎市JR福知山線列車事故災害に兵庫県消防相互応援協定に基づき救急隊を派遣
11月	携帯電話からの119通報を直接受信開始
平成18年 3月	薬剤投与認定救命士誕生
7月	北近畿豊岡自動車道春日和田山間開通

平成18年 8月	第35回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
12月	第9回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞
平成19年 2月	高機能消防指令センター運用開始
6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
9月	第1回但馬地域MC協議会開催
10月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
11月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(竹田城跡)
12月	第10回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成20年 8月	第37回全国消防救助技術大会に3年連続で出場 自動体外式除細動器(AED)設置施設公表制度開始
平成21年10月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
12月	指揮支援車を本署に配備
平成22年 4月	ドクターヘリ運航開始
10月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(青倉山)
12月	ドクターカー運行開始
平成23年 3月	14時56分、東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)
3月～ 4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計16名派遣)
8月	消防広域化協議会発足式開催
10月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(室尾城跡)
平成24年 6月	消防救急デジタル無線基本設計・電波伝搬調査実施
8月	第41回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場 養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
10月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(竹田城跡)、伯耆トンネル列車火災事故対応合同訓練実施
11月	北近畿豊岡自動車道路和田山八鹿道消防合同訓練、指揮支援車を更新し出張所に配備
平成25年 3月	朝来市消防本部を閉庁

3 旧養父市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和53年 4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用19名を含む24名で消防業務開始)
5月	査察広報車を配備
8月	救急車(2B型)2台を配備(八鹿病院及び日本船舶振興会から寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)及び指令車を配備
10月	初任科研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始
11月	化学消防自動車II型を配備
12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局
昭和54年 4月	消防吏員7名を採用
6月	救急車(2B型)を配備(日産自動車から寄贈)
9月	小型動力ポンプ付積載車を配備(日本船舶振興会から寄贈)
12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員8名を配置、小型動力ポンプ付積載車及び救急車(2B型)、広報車(大屋ライオンズクラブから寄贈)を配備し消防業務開始
昭和55年 3月	八鹿町高柳313-10番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置

昭和55年 4月	消防吏員 5 名を採用(条例定数35名)
6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年 5月	救助工作車(Ⅰ型)を本署に配備
8月	消防本部書庫及び車庫増築
11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成
12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年 2月	朝来郡広域消防事務組合と応援協定締結
3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
4月	養父郡消防本部発足 5 周年記念式典挙行
6月	大屋町婦人防火クラブ結成
8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和58年 7月	宍粟広域消防事務組合と応援協定締結
8月	美方郡広域消防事務組合と応援協定締結
9月	消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ⅰ)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定締結
5月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	防火広報車を更新し本署に配備(日本防火協会から寄贈)
昭和60年10月	救急車(２Ｂ型)を本署に配備(兵庫県農業共済連合会から寄贈)
昭和61年 1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成
昭和62年 4月	公用車を本署に配備
12月	救助体制整備のためルーカスレスキューツールを配備
昭和63年 2月	広域消防応援体制充実のため消防用無線全国波を増設
4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足10周年記念式典挙行
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結。本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
10月	消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ⅰ)を更新し出張所に配備
昭和63年11月	指令車を更新し本署に配備
平成元年 8月	出張所に救急消毒室を整備
10月	救急車(２Ｂ型)を出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
平成 3年 2月	救助工作車Ⅰ型を更新し本署に配備
10月	緊急通報システム運用開始
平成 4年 1月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	救急車(２Ｂ型)を本署に配備(日本消防協会から寄贈)
12月	化学消防車Ⅱ型を更新し本署に配備
平成 5年 4月	兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
10月	消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ⅰ)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
11月	救急車(２Ｂ型)を本署に配備(養父郡農業協同組合から寄贈)
平成 6年 7月	査察広報車を更新し出張所に配備
11月	防火広報車更新
平成 7年 1月	5時46分兵庫県南部地震発生、神戸市灘消防署に応援隊派遣(延べ11日間、33名、11台)
10月	北九州市の救命士養成所に職員 1 名を初めて派遣
平成 8年 9月	兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム導入
平成 9年 3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備(日本自動車工業会から寄贈)
7月	公用車を更新し本署に配備
平成10年 6月	養父郡消防本部発足20周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
12月	冬山搜索装備品整備
平成11年 6月	高規格救急自動車(４WD)を整備し出張所に配備

平成12年12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成14年10月	指令車を更新し出張所に配備
平成15年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
6月	災害対応特殊高規格救急自動車(4WD)を本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に初出場
12月	消防ポンプ自動車(CD-I)を更新し出張所に配備
平成16年 3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する(31日)
4月	養父市消防本部誕生(養父郡4町が合併し養父市が誕生)
8月	第33回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大、県下広域応援出動要請により豊岡市に救助隊を派遣
平成17年 2月	北但消防本部とのBC災害対応消防合同訓練実施
4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
8月	第34回全国消防救助技術大会に3年連続で出場
9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成19年 1月	救助工作車(Ⅱ型)を更新し本署に配備
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
12月	八鹿ライオンズクラブから自動体外式除細動器(AED)を寄贈され署所に配備
平成20年 3月	査察広報車を更新し本署に配備(JAたじま・JA共済連兵庫から寄贈)
7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年 2月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
9月	防火広報車を更新し本署に配備
11月	携帯・IP電話位置情報システム運用開始
平成22年 3月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始、化学消防ポンプ自動車を更新し本署に配備
平成23年 3月	14時56分、東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)
3月～ 4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計14名派遣)
8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
平成23年 9月	消防ポンプ自動車(CD-I)を更新し本署に配備
10月	ドクターカー・ドクターヘリとの併用運行開始
11月	特殊災害対応合同訓練実施
12月	鳥取県東部広域行政管理組合と応援協定を締結
平成24年 8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
11月	北近畿豊岡自動車道路和田山八鹿道消防合同訓練実施
平成25年 3月	養父市消防本部を閉庁

平成 25 年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	南但消防本部発足式 山火事防止月間(4/1～4/30)
4月 4日	兵庫県消防学校「初任科」4名入校(卒業式、9/27)
4月 7日	朝来市消防大会(於:ジュピターホール) 養父市消防大会(於:養父市民会館)
4月16日	朝来市新任職員研修(於:朝来消防署)
4月21日	第10回消防ふれあい祭り(於:イオン和田山ショッピングセンター)
5月 7日	救助隊特別訓練(～7/25)
5月21日	消防救急デジタル無線実施設計業務委託契約完了・着手(H26.1/31業務完了)
5月27日	第114回南但広域行政事務組合議会臨時会開催 神戸・警防指揮課程入校(～5/31 於:神戸市消防学校) 養父市トライやる・ウィーク(～5/31 於:養父消防署)
6月 2日	危険物安全週間(～6/8)
6月 3日	朝来市トライやる・ウィーク(～6/7 於:朝来消防署)
6月 7日	綾部市消防本部視察研修
6月11日	水難救助訓練(於:円山川)
6月12日	水難救助ボート取扱い訓練(6/12.13 於:山東町金浦調整池)
6月18日	但馬地区消防本部救助合同訓練(於:南但消防本部)
6月20日	甲種防火管理新規講習会(6/20.21 於:養父消防署)
6月23日	養父市消防団水防工法訓練(於:大屋川)
7月25日	少年消防クラブと合同で氷ノ山登山
7月26日	第115回南但広域行政事務組合議会臨時会開催 第42回消防救助技術近畿地区指導会(於:兵庫県防災センター)
7月29日	初任科所属研修(～8/2)
8月15日	福知山花火大会事故に救急車2台応援出動
9月 1日	朝来市消防団幹部・女性・新入団員研修(於:南但消防本部他)、養父市一斉避難訓練 兵庫県防災総合訓練(夢前町)
9月11日	J-ALERT全国一斉情報伝達訓練
9月19日	甲種防火管理新規講習会(9/19.20 於:朝来消防署)
9月20日	消防防災航空隊合同山岳訓練(於:氷ノ山)
9月25日	防火ポスター審査会(於:南但消防本部)
10月 1日	救助訓練強化月間(救助総合訓練査閲:11/6朝来署・11/7養父署)
10月 2日	兵庫県消防学校「救助科」入校(～10/31)
10月 3日	第116回南但広域行政事務組合議会定例会開催
10月 5日	八鹿病院災害訓練(於:公立八鹿病院)
10月 9日	兵庫県消防学校「予防査察科」入校(～10/23)
10月10日	福祉村消防訓練(於:和田山町竹田)

月 日	内 容
10月20日	ひょうご消防のつどい2013(於:三田市)
10月26日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(～10/27 於:近江八幡市)
11月 1日	南但広域行政事務組合管理者交替(朝来市長から養父市長) 救急訓練強化月間(救急総合訓練査閲:12/3朝来署・12/4養父署)
11月 2日	和田山支団夜間消防合同訓練(於:和田山町秋葉台)
11月 3日	山東支団消防合同訓練(於:旧与布土小学校)
11月 6日	兵庫県消防学校「初級幹部科」入校(～11/19)
11月 8日	朝来消防署 1 日消防官
11月 9日	秋季全国火災予防運動(11/9～11/15)、養父市防火パレード、
11月10日	生野・大屋出張所及び養父方面隊との合同消防訓練(於:養父市長野)
11月11日	第 1 1 7 回南但広域行政事務組合議会臨時会開催
11月13日	J R 列車事故対応合同訓練(於: J R 和田山駅)
11月19日	旅館・ホテル防火研修会(於:南但消防本部)
11月23日	豊岡病院災害対応訓練(於:公立豊岡病院)
11月25日	自治体消防 6 5 周年記念式典参加
11月27日	兵庫県消防学校「特殊災害科」入校(～12/10)
12月 1日	消防訓練強化期間(12/1～12/15)
12月11日	兵庫県消防学校「災害現場指導科」入校(～12/13)
12月15日	年末年始特別警戒(前期12/15～12/24 後期12/25 ～1/3)
12月16日	養父消防署 1 日消防署長
12月24日	養父署高規格救急自動車運用開始(やぶしょう20)
1月 7日	兵庫県消防学校「火災調査科」入校(～1/21)
1月10日	平成 2 6 年消防出初式(於:南但消防本部)
1月23日	兵庫県消防学校「救急科」入校(～3/18)
1月26日	文化財防火デー(1/26 和田山支団他合同訓練 於:赤淵神社)
1月30日	大屋方面隊との文化財防火合同消防訓練(於:大屋町蔵垣)
2月 1日	和田山高校キャリアミーティング
2月18日	兵庫県消防学校「山岳用救助器具取扱技術研修」(～2/20)、消防職員駅伝大会(於:大阪市)
2月20日	第 1 1 8 回南但広域行政事務組合議会定例会開催
2月24日	警察合同冬山遭難救助訓練(於:氷ノ山国際スキー場)
3月 1日	春季全国火災予防運動(～3/7)
3月 4日	JR伯耆トンネル列車火災事故対応合同訓練(於:生野町川尻)
3月10日	但馬地区消防本部救助技術研究会(於:南但消防本部) 大屋出張所耐震化工事(大屋地域局へ移転)
3月16日	生野・朝来支団林野火災訓練(於:生野町枿原)
3月18日	関宮方面隊との合同消防訓練(於:第一学院高等学校)
3月26日	朝来市危険物安全協会臨時(解散)総会開催
3月27日	養父市危険物安全協会臨時(解散)総会開催

～おもな出来事～



南但消防本部発足式

(4月1日 消防本部)

養父市消防本部と朝来市消防本部が統合し「南但消防本部」がスタート。職員一同心を新たに市民の安心安全に全力を尽くすことを誓いました。



消防ふれあい祭り

(4月21日 イオン和田山ショッピングセンター)

地域に定着したイベントとして、今年で10回目を迎えました。多くのご来場ありがとうございました。



養父小学校社会見学

(5月14日 消防本部)

養父市内の小学校から初めての社会見学。消防本部の通信指令室や車両・資機材の見学、救助袋による避難訓練を体験しました。



トライやるウィーク

(5月27日～5月28日 養父消防署)

八鹿青溪、養父、関宮中学の2年生6人が敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの訓練にトライしました。



但馬地区消防本部救助合同訓練

(6月18日 消防本部)

但馬地域3消防本部(豊岡、美方、南但)とあわせて京丹後市からも出場し、日頃の訓練の成果を披露しました。



予防課緊急巡回指導

(8月23日 和田山町内)

8月15日の福知山市由良河川敷で発生した花火大会火災を受け、当管内各地のイベント会場でも緊急の巡回指導を実施しました。

～おもな出来事～



普通救命講習

(9月12日 養父消防署)

全但バス乗務員を対象に普通救命講習を実施しました。乗務中における不測の事態に的確に対応できるよう熱心に受講されました。



県防災ヘリ合同山岳救助訓練

(9月20日 氷ノ山山頂)

氷ノ山登山者に急病人が発生したという想定で訓練を実施しました。要救助者を山頂まで搬送し防災ヘリに収容しました。



一日消防官

(11月8日 消防本部)

女性消防団員4名が消防長から辞令交付を受けた後、市内のこども園・保育園を回り、防火紙芝居で家庭内の火災予防を呼びかけました。



JR列車事故対応合同訓練

(11月13日 JR和田山駅)

消防本部、朝来市消防団、JR西日本、朝来警察、八鹿病院(DMAT)、和田山医療センターが列車事故を想定した合同の訓練を実施しました。



消防出初式

(1月10日 消防本部)

南但消防本部として初めての「出初式」を実施。寒波が襲来した厳しい天候でありましたが、県防災ヘリも駆けつけ、力強い訓練披露が出来ました。



冬山遭難救助訓練

(2月24日 氷ノ山国際スキー場)

兵庫県警察機動隊、養父警察署、氷ノ山鉢伏山山岳救助隊、関宮地域局と合同で冬山搜索訓練を実施。関係機関との連携を確認しました。

一 目 統 計

構成市町	面 積	人 口	世 帯 数
2 市	825.76km ²	58,328人	21,986世帯
朝来市 養父市	朝来市 402.98km ² 養父市 422.78km ²	朝来市 32,517人 養父市 25,811人	朝来市 12,293世帯 養父市 9,693世帯

予 算	組 織	職 員 数	消防団員数
1,074,140千円	消防本部 1 消 防 署 2 出 張 所 2	97名	2,300名 朝来市 1,028名 養父市 1,272名

防火対象物	危険物施設	防 火 団 体	
3,166棟 朝来市 1,665棟 養父市 1,501棟	353施設 朝来市 167施設 養父市 186施設	朝来市自主防災 推進協議会 436会員 地 域 会 員 161会員 事業所会員 261会員 賛 助 会 員 6会員	養父市幼少年婦人 防火クラブ 婦人防火クラブ 95名 幼年消防クラブ 276名 少年防火クラブ 100名

火 災	救 急	救 助	そ の 他
36件 【出火原因】 ①焼却火 ②不 明 ③列車ブレーキの火花	出動件数 2,929件 搬送人員 2,661名 【事故種別】 ①急 病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 75件 救助人員 42名 【事故種別】 ①交通事故 ②水難事故 ③自然災害 ③機械による事故 ③建物等による事故	出動件数 754件 【種別】 ①ヘリ支援 554件 ②救急支援 127件 ③そ の 他 73件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救 急 車
119番総受信回数 3,854回 緊急通報受信回数 2,593回	タンク車 2台 ポンプ車 3台	は し ご 車 1台 救助工作車 2台 化 学 車 1台	高規格救急車 6台

概 要 編

消防の管理

1 平成25年度消防行政の推進

平成25年4月1日、養父市消防本部と朝来市消防本部が統合し「南但消防本部」としてスタートしました。この広域化によって両市が保有する消防力を効率的かつ効果的に運用することにより、消防体制の充実強化、より質の高い住民サービス、消防に関する行財政運営の効率化及び基盤の強化を図るとともに消防団との連携を密にし、地域住民の皆さんと協働して「安全で安心な地域づくり」を目指します。

なお、国の示す消防行政重点推進施策を基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 自主防災と防火管理体制の強化
- (2) 住宅防火及び災害弱者対策の推進
- (3) 消防活動の高度化
- (4) 消防団との連携及び広域消防相互応援体制の整備
- (5) 活力ある職場づくり

2 平成25年度当初予算

平成25年度当初予算の総額は1,074,140千円で、このうち人件費が811,965千円で歳出予算総額の75.6%を占め、消防施設整備事業費は17.4%の186,723千円で、養父消防署と大屋出張所の耐震化事業、消防救急無線デジタル化の基本設計、高規格救急車及び指揮車の更新などを行いました。



▲高規格救急車



▲指揮車

予 防

1 防火対象物の状況

平成25年度末の防火対象物は総数3,167棟で、市別では養父市1,501棟、朝来市1,666棟となっています。用途別では「その他の事業所」が最も多く約22%を占めており、続いて「工場等」、「共同住宅等」となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は722件(棟数)で、査察後は対象物の関係者に対し防火安全上の不備欠陥事項について改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

平成25年度末の危険物施設数は353施設で、市別では養父市186施設、朝来市167施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が最も多く約33%を占めており、続いて「一般取扱所」、「給油取扱所」となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査件数は264件(施設数)で、全施設の75%に立ち入り、危険物施設の技術上の基準に適合するよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防火体制を強化するため、両市内で地域に根ざした独自の自主防火組織の育成に協力しています。



養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「幼年・少年・婦人防火クラブ」が設立されており、防火研修や防火餅つきなど多彩な行事を通じて防火思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

(左) 幼年消防クラブによる防火餅つきの様子(養父市)

(下) 朝来市自主防災推進協議会での防災講演会の様子(朝来市)

また朝来市内には261事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への援助活動を通じて地域ぐるみで自主防火に取り組んでいます。



火 災

平成25年中の出火件数は36件で、前年(37件)と比較すると1件の減少となっています。

火災種別ごとにみると、建物火災が11件、林野火災が5件、車両火災が4件、その他の火災が16件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は23件で、その内訳は、建物火災が7件、林野火災が3件、車両火災が2件、その他の火災が11件となっています。

養父市内の出火件数は13件で、その内訳は、建物火災が4件、林野火災が2件、車両火災が2件、その他の火災が5件となっています。

火災の損害は38,753千円で、前年と比較すると105,345千円減少しています。



火災の状況

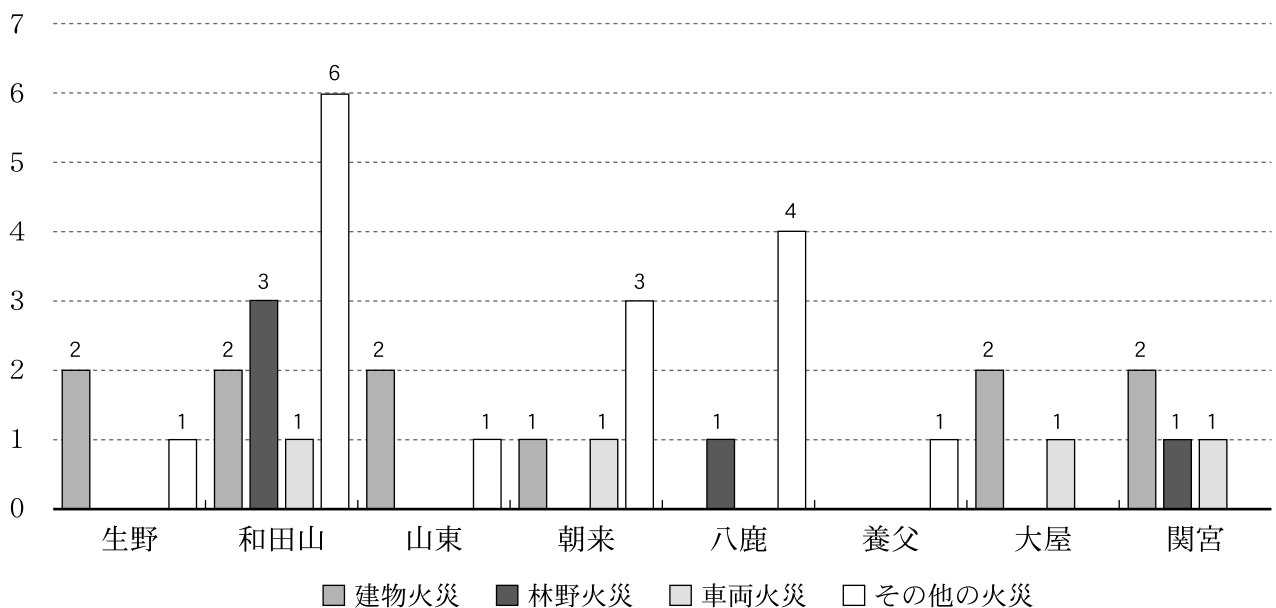
区 分		平 成 2 5 年	平 成 2 4 年	比 較 増 減
出 火 件 数	総 数	36	37	△ 1
	建 物 火 災	11	25	△ 14
	林 野 火 災	5	2	3
	車 両 火 災	4	4	
	そ の 他 の 火 災	16	6	10
焼 損 棟 数	総 数	14	32	△ 18
	全 焼	6	6	
	半 焼	2	7	△ 5
	部 分 焼	2	7	△ 5
	ぼ や	4	12	△ 8
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	967	1,924	△ 957
	林 野 (a)	33	3	30
損 害 額 (千円)	総 数	38,753	144,098	△ 105,345
	建 物	37,025	143,533	△ 106,508
	林 野	586	0	586
	車 両	463	558	△ 95
	そ の 他	679	7	672
り 災 世 帯 数		4	18	△ 14
り 災 人 員		7	54	△ 47
死 者		0	3	△ 3
負 傷 者		4	8	△ 4

地域別の状況

区 分		総 数	朝 来 市					養 父 市				
			計	生 野	和田山	山 東	朝 来	計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮
出 火 件 数	総 数	36	23	3	12	3	5	13	5	1	3	4
	建 物 火 災	11	7	2	2	2	1	4			2	2
	林 野 火 災	5	3		3			2	1			1
	車 両 火 災	4	2		1		1	2			1	1
	その他の火災	16	11	1	6	1	3	5	4	1		
焼 損 棟 数	総 数	14	9	4	2	2	1	5			3	2
	全 焼	6	4	3	1			2			2	
	半 焼	2	1	1				1				1
	部 分 焼	2						2			1	1
	ぼ や	4	4		1	2	1					
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	967	595	280	315			372			352	20
	林 野 (a)	33	26		26			7	5			2
損 害 額 (千 円)		38,753	34,957	1,4616	19,967	21	353	3,796	0	0	3,194	602
り 災 世 帯 数		4	3	2			1	1				1
り 災 人 員		7	5	3			2	2				2
死 者												
負 傷 者		4	3	1	1	1		1	1			

地域別出火件数

(件)



救 急

平成25年中の救急件数は2,929件、搬送人員は2,661人で、前年(2,935件、2,719人)と比較すると、件数で6件の減少、人員で58人の減少となっています。

事故種別ごとにみると、急病が1,704件で最も多く、次いで一般負傷426件、転院搬送319件、交通事故293件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,495件、養父市内の救急件数は1,428件、管外が6件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野205件、和田山814件、山東240件、朝来236件となっており、養父市内は、八鹿590件、養父372件、大屋248件、関宮218件となっています。



救急の状況

区 分	平成25年		平成24年		比較増減
	件 数	比 率(%)	件 数	比 率(%)	
総 数	2,929	100	2,935	100	△ 6
火 災	4	0.1	11	0.4	△ 7
自 然 災 害	1	0.1		0	1
水 難		0		0	
交 通 事 故	293	10.0	246	8.4	47
労 働 災 害	26	0.9	31	1.0	△ 5
運 動 競 技	24	0.9	18	0.6	6
一 般 負 傷	426	14.5	437	14.9	△11
加 害	7	0.2	9	0.3	△ 2
自 損 行 為	21	0.7	26	0.9	△ 5
急 病	1,704	58.1	1,668	56.8	36
転 院 搬 送	319	10.9	411	14.0	△92
そ の 他	104	3.6	78	2.7	26

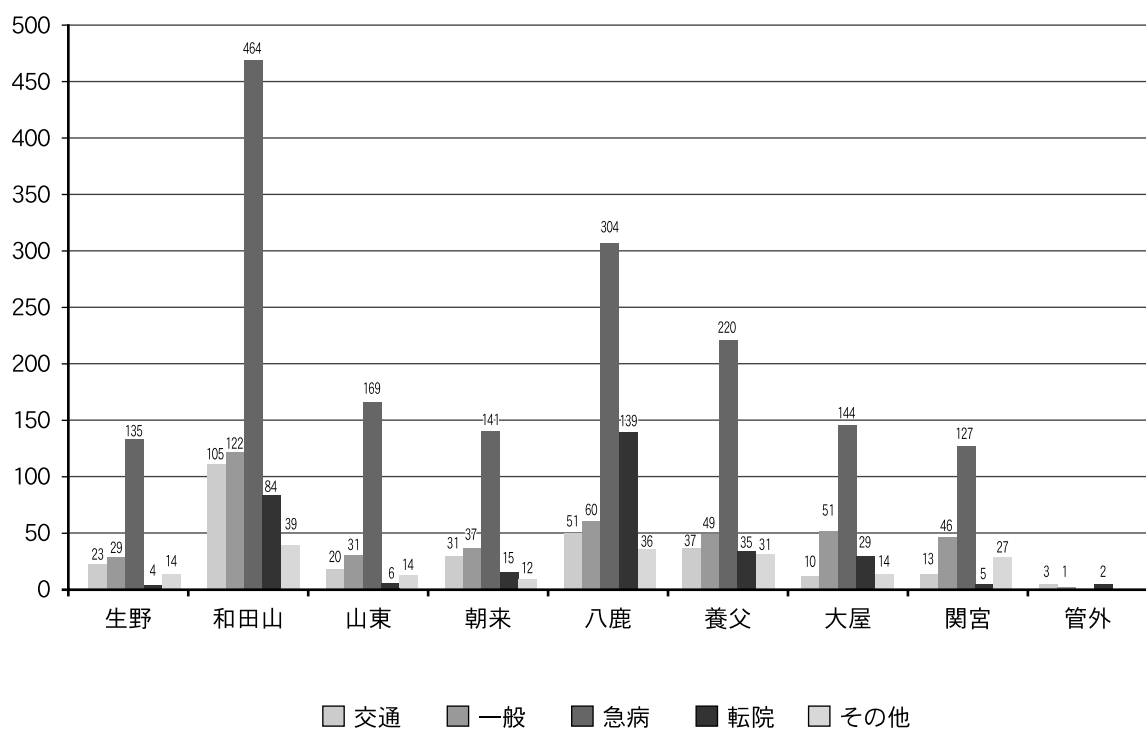
※その他とは、上記以外のもの(例)医師搬送など。

地域別の状況

(単位:件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		計	生野	和田山	山東	朝来	計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	2,929	1,495	205	814	240	236	1,428	590	372	248	218	6
火 災	4	2	1		1		2	1			1	
自 然 災 害	1						1	1				
水 難 事 故												
交 通 事 故	293	179	23	105	20	31	111	51	37	10	13	3
労 働 災 害	26	17	5	10		2	9	4	1	3	1	
運 動 競 技	24	5		2	1	2	19	7	4		8	
一 般 負 傷	426	219	29	122	31	37	206	60	49	51	46	1
加 害	7	4		1	2	1	3		2	1		
自 損	21	15	3	6	5	1	6	4	1		1	
急 病	1,704	909	135	464	169	141	795	304	220	144	127	
転 院 搬 送	319	109	4	84	6	15	208	139	35	29	5	2
そ の 他	104	36	5	20	5	6	68	19	23	10	16	

地域別・事故種別出動状況



救 助

平成25年中の救助出動件数は75件で、前年(62件)と比較すると13件の増加となっています。

事故種別ごとにみると、交通事故が47件、水難事故が2件、自然災害及び機械による事故、建物等による事故が各1件、その他(山岳、高所からの転落等)の事故が23件となっています。

地域別の出動状況を見ると、朝来市内では生野5件、和田山18件、山東9件、朝来6件となっており、養父市内は、八鹿が15件、養父8件、大屋6件、関宮8件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は38件で、42人を救助しました。



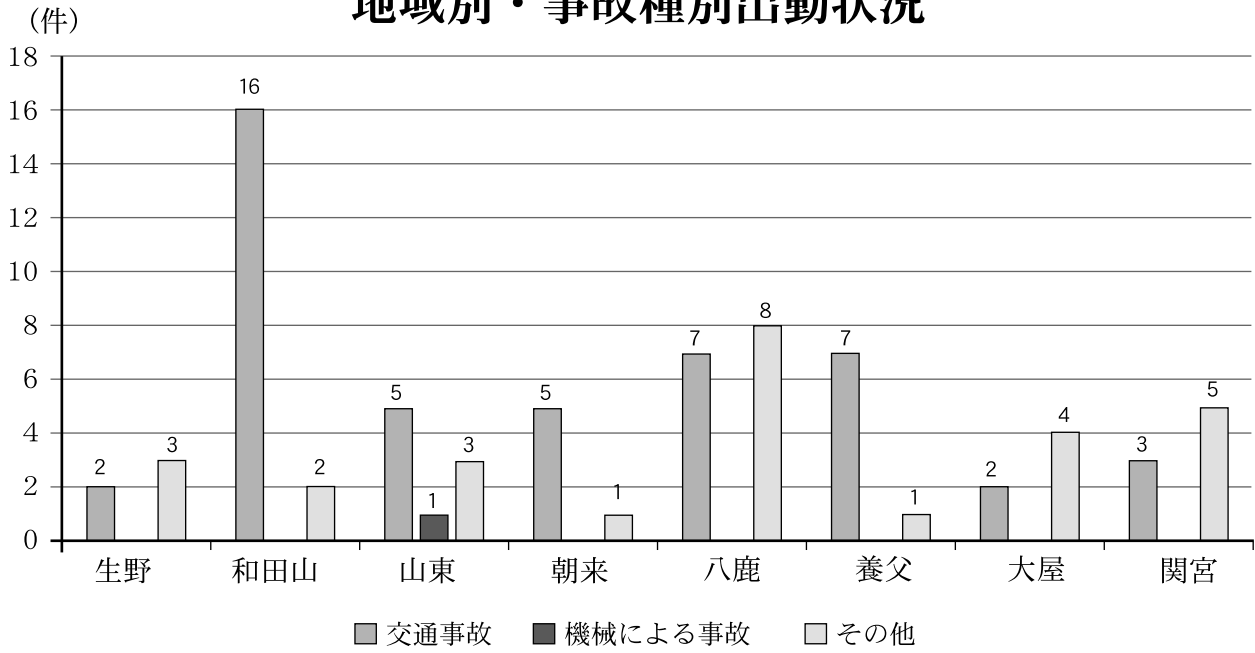
救助の状況

区 分	平成25年	平成24年	比較増減
	件数	件数	
総 数	75	62	13
火 災		4	△4
交 通 事 故	47	34	13
水 難 事 故	2	1	1
自 然 災 害	1		1
機 械 に よ る 事 故	1	3	△2
建 物 等 に よ る 事 故	1		1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	23	20	3

地域別の状況

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	75	38	5	18	9	6	37	15	8	6	8	
火 災												
交通事故	47	28	2	16	5	5	19	7	7	2	3	
水難事故	2	1	1				1			1		
自然災害	1						1	1				
機械による事故	1	1			1							
建物等による事故	1	1			1							
ガス及び酸欠事故												
破裂事故												
その他の事故	23	7	2	2	2	1	16	7	1	3	5	
救助活動件数	38	18	1	8	5	4	20	8	5	3	4	
救助人員	42	19	1	9	5	4	23	9	6	3	5	

地域別・事故種別出動状況



通 信

平成25年中の119番受信件数は3,854件で、その内訳は緊急通報が2,593件、緊急外通報が1,261件となっています。

前年と比較すると、緊急通報が266件減少し、緊急外通報が134件減少しています。

また、携帯電話からの119番通報は1,014件で、前年と比較すると45件の増加となっています。



通信の状況

		平成 24 年	内、 携 帯 電 話	平成 25 年	内、 携 帯 電 話	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		4,254	969	3,854	1,014	402	353	400	252	281	318	316	305	275	315	323	314
緊急 通 報	火災通報	34	13	25	17	1	2	5	3	3	5	2	1	1	1	1	
	救急通報	2,645	531	2,329	553	246	224	197	176	171	164	198	199	174	177	199	204
	病院照会	120	56	110	56	7	8	10	6	12	10	9	10	9	7	8	14
	台風関連 第2報等	42	18	106	62	7	2	5	9	12	14	12	11	5	10	13	6
	ガス漏検索 誤報等	18	9	23	7			2	2	1	1	5	3	1	4	3	1
	計	2,859	627	2,593	695	261	236	219	196	199	194	226	224	190	199	224	225
緊急 外 通 報	通報訓練	395	34	446	18	34	34	55	16	32	49	26	20	19	59	59	43
	間 違 い	199	98	147	78	9	13	9	8	13	6	17	23	19	9	14	7
	いたずら	47	13	25	12	3	2	3	2	3	2	1	1	3	3	2	
	問 合 せ	66	28	83	41	11	2	3	8	8	15	8	11	6	5	3	3
	そ の 他	688	169	560	170	84	66	111	22	26	52	38	26	38	40	21	36
	計	1,395	342	1,261	319	141	117	181	56	82	124	90	81	85	116	99	89

統計資料編

管 理 編

管
理
編

平成 25 年度予算状況

(単位:千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額 (流用等含む)	現計予算額	比 率 (%)
歳入	総 計	1,074,140	△6,871	1,067,269	100.0
	分 担 金	1,061,022	△14,871	1,046,151	98.0
	使用料・手数料	983		983	0.1
	国 県 支 出 金	10,582		10,582	1.0
	繰 入 金				
	繰 越 金				
	地 方 債		8,000	8000	0.7
	諸 収 入 他	1,553		1,553	0.2
歳出	総 計	1,074,140	△6,871	1,067,269	100.0
	人 件 費	811,965	△16,659	795,306	74.5
	物 件 費	64,246	697	64,943	6.1
	建 設 事 業 費	186,723		186,723	17.5
	維 持 補 修 費	4,647	1,051	5,698	0.5
	補 助 費 等	6,559	40	6,599	0.6
	公 債 費		8,000	8,000	0.8

平成 25 年度職員給与費の実態

職員給与

(単位:千円)

職員数 (A)	平成25年度給与費				一人当たりの給与費 (B)/(A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
94	355,735	106,027	128,558	590,320	6,280

初任給の状況(高校卒)

	消防職	一般行政職	国
初任給	1 級 8 号給	1 級 5 号給	1 級 5 号棒
金 額	143,400円	140,100円	140,100円

階級別勤続年数

(H26.3.31現在)

階 級 勤続年数	総数	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
総数	94	1	22	45	11	7	8
1 年未満	4						4
1 年～ 5 年	11			1	1	5	4
6 年～10年	7			1	4	2	
11年～15年	10			7	3		
16年～20年	13			13			
21年～25年	10			10			
26年～30年	6			6			
31年～35年	23	1	13	7	2		
36年以上	10		9		1		

年齢別職員構成

(H26.3.31現在)

階級 勤続年数	総数	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
総数	94	1	22	45	11	7	8
20歳以下	1						1
21歳～25歳	9					2	7
26歳～30歳	9				4	5	
31歳～35歳	9			5	4		
36歳～40歳	15			15			
41歳～45歳	8			8			
46歳～50歳	9			9			
51歳～55歳	16		6	8	2		
56歳以上	18	1	16		1		

研修派遣状況

(単位:人)

階 級 研修科目	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	31		2	17	2	2	8
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	27		1	15	1	2	8
初 任 教 育	4						4
初 級 幹 部 科	2			2			
救 急 科	3						3
救 急 救 命 士 追 加 講 習	9			8	1		
火 災 調 査 科	1			1			
予 防 査 察 科	1			1			
救 助 科	2					1	1
惨 事 ス ト レ ス 科	1		1				
特 殊 災 害 科	2			2			
災 害 現 場 指 揮 科	1			1			
山岳用救助器具取扱技術研修	1					1	
《 神 戸 市 消 防 学 校 》	1			1			
警 防 指 揮 課 程	1			1			
山 岳 遭 難 救 助 研 修	1				1		
兵 庫 県 自 治 研 修 所	2		1	1			

階級別資格取得状況

(H26.3.31現在)

階 級 資 格		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	66	1	13	35	9	5	3
	普 通	94	1	23	44	11	7	8
危 険 物 取 扱 者 (甲 種)		2		2				
危 険 物 取 扱 者 (乙 種)		77	1	23	38	7	4	4
危 険 物 取 扱 者 (丙 種)		18		3	13	2		
消 防 設 備 士 (甲 種)		2	1	1				
消 防 設 備 士 (乙 種)		16	1	5	9		1	
特 殊 無 線 乙		94	1	23	44	11	7	8
救 急 救 命 士 資 格		38		11	21	4		2
気 管 挿 管 認 定		25		3	19	3		
薬 剤 投 与 認 定		27		3	20	4		
救 急 隊 員 資 格 (Ⅱ 課 程)		60	1	22	34	3		
救 急 隊 員 資 格 (標 準 課 程)		33			10	8	7	8
応 急 手 当 指 導 員		93	1	22	44	11	7	8
救 助 隊 員 資 格 (1 号)		41		6	26	7	2	
小 型 船 舶 操 縦 士		12		1	11			
玉 掛 技 能 者		21		2	12	4	2	1
移 動 式 ク レ ー ン		19		2	11	4	2	
衛 生 管 理 者		1		1				
安 全 衛 生 推 進 者		2		2				
予 防 技 術 資 格 者		14	1	5	8			

平成 24 年度一般会計決算の概要

養父市消防本部

(単位:千円)

科 目	予算額(A)	収入済額(B)	比較(B - A)
歳 入 合 計	569,686	524,769	△44,917
一 般 財 源	364,514	253,349	△111,165
使 用 料 ・ 手 数 料	336	1,079	743
国 県 支 出 金	7,401	7,535	134
負 担 金	6,750	10,588	3,838
諸 収 入	29,785	32,218	2,433
地 方 債	160,900	220,000	59,100

科 目	予算額(A)	支払済額(B)	比較(A - B)
歳 出 合 計	569,686	524,769	44,917
常 備 消 防 費	468,517	440,874	27,643
消 防 施 設 費	101,169	83,895	17,274

平成24年度消防費基準財政需要額(千円)	558,662
上記需要額と一般財源の比率	45.3%

平成 24 年度一般会計決算の概要

朝来市消防本部

(単位:千円)

科 目	予算額(A)	収入済額(B)	比較(B - A)
歳 入 合 計	655,270	626,359	△ 28,911
一 般 財 源	549,305	534,519	△ 14,786
使 用 料 ・ 手 数 料	650	1,490	840
国 県 支 出 金	12,693	11,480	△ 1,213
財 産 収 入	31	243	212
負 担 金	92,065	78,098	△ 13,967
諸 収 入	526	529	3

科 目	予算額(A)	支払済額(B)	比較(A - B)
歳 出 合 計	655,270	626,359	28,911
常 備 消 防 費	615,944	591,273	24,671
消 防 施 設 費	39,326	35,086	4,240

平成24年度消防費基準財政需要額(千円)	634,900
上記需要額と一般財源の比率	84.2%

消防相互応援協定の締結状況

(平成26年 3月31日現在)

締 結 年 月 日	内 容
平成 2 5 年 4 月 1 日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成 2 5 年 4 月 1 日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定書(改定)
平成 2 5 年10月23日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)

予 防 編

予
防
編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

（H26.3.31現在）

用 途 別		防 火 対 象 物									3 階 以 上 対 象 物								
		総数	朝 来 市				養 父 市				総数	朝 来 市				養 父 市			
			生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮
総 数		3,167	231	935	275	225	642	338	233	288	415	30	123	27	14	113	29	8	71
1	イ 映 画 館 等	2	1	1							2	1	1						
	ロ 集 会 場 等	188	10	36	22	20	32	19	21	28	7		4		1	1	1		
2	イ キャバレー等	1		1															
	ロ 遊 技 場 等	5		3			2												
	ニ カラオケボックス等	1		1															
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	79	2	29	8	1	13	16	4	6	4		1	1		2			
4	店 舗 等	158	9	76	13	13	19	20	1	7	9		7			2			
5	イ 旅館・ホテル等	160	8	10	13	8	11	6	8	96	62		8	2		1	3	2	46
	ロ 共 同 住 宅 等	334	30	148	32	19	54	35	6	10	86	8	27	10	1	27	8		5
6	イ 病 院 等	46	3	17	2	5	12	5	1	1	8		2		4	2			
	ロ グループホーム等	34	3	6	4	4	4	3	8	2	4		1		1	1			1
	ハ デイサービス・保育所	94	8	23	11	13	15	11	9	4	2				1		1		
	ニ 幼 稚 園 等	18		10	3	1	3	1			2		2						
7	学 校 等	114	23	20	8	6	42	7	4	4	40	7	10	2	1	12	3	2	3
8	図 書 館 等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	93	11	9	3	1	20	24	11	14	1	1							
12	イ 工 場 等	505	41	168	49	44	102	51	28	22	22	7	3	1	1	5	2		3
	ロ 映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ 駐 車 場 等	43	1	12	4	6	10	3	2	5									
14	倉 庫	282	24	101	28	19	60	23	15	12	10	1	2	2		5			
15	その他の事業所	689	38	167	55	49	153	77	95	55	74	3	25	5	2	18	9	4	8
16	イ 複合用途(特定)	169	3	54	6	7	54	21	11	13	49	1	18	2	1	23	1		3
	ロ 複合用途(非特定)	101	6	37	6	3	26	13	4	6	31	1	10	2	1	14	1		2
17	文化財建造物	22	3	1	6	3	7	1		1									

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

用 途 別		査 察 件 数			防 火 管 理 者 ・ 消 防 計 画														
					対 象 数			選 任 数			選 任 率 (%)			計 画 届 出 数			届 出 率 (%)		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市
総 数		722	371	351	895	396	499	837	348	489	93	88	98	821	338	483	91	85	97
1	イ 映 画 館 等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ 集 会 場 等	38	15	23	178	80	98	139	42	97	76	53	99	136	39	97	76	49	99
2	イ キャバレー等	1	1		1	1		1	1		100	100							
	ロ 遊 技 場 等	3	2	1	4	2	2	4	2	2	100	100	100	4	2	2	100	100	100
	ニ カラオケボックス等	1	1		1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	26	17	9	64	27	37	57	25	32	89	93	86	53	23	30	83	85	81
4	店 舗 等	75	48	27	98	64	34	93	59	34	96	92	100	92	58	34	94	91	100
5	イ 旅館・ホテル等	130	45	85	125	21	104	122	21	101	98	100	97	119	20	99	95	95	95
	ロ 共 同 住 宅 等	7	5	2	23	13	10	22	12	10	96	92	100	22	12	10	96	92	100
6	イ 病 院 等	38	19	19	15	11	4	15	11	4	100	100	100	15	11	4	100	100	100
	ロ グループホーム等	39	19	20	22	11	11	22	11	11	100	100	100	22	11	11	100	100	100
	ハ デイサービス・保育所	74	44	30	63	30	33	63	30	33	100	100	100	63	30	33	100	100	100
	ニ 幼 稚 園 等	2		2	5	1	4	5	1	4	100	100	100	5	1	4	100	100	100
7	学 校 等	32	23	9	52	22	30	52	22	30	100	100	100	52	22	30	100	100	100
8	図 書 館 等	5	4	1	11	8	3	11	8	3	100	100	100	11	8	3	100	100	100
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	8	5	3	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場																		
11	神 社 ・ 寺 院 等	9	6	3	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ 工 場 等	40	24	16	33	23	10	32	23	9	95	100	90	32	23	9	97	100	90
	ロ 映画スタジオ等	1		1	1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ 駐 車 場 等	7	3	4															
14	倉 庫	18	6	12	1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
15	その他の事業所	115	49	66	91	40	51	89	38	51	98	95	100	87	37	50	96	93	98
16	イ 複合用途(特定)	37	25	12	86	31	55	86	31	55	100	100	100	84	30	54	98	97	98
	ロ 複合用途(非特定)	7	2	5	7	3	4	7	3	4	100	100	100	7	3	4	100	100	100
17	文化財建造物	7	6	1	3		3	3		3	100		100	3		3	100		100

確認申請処理状況

(H26.3.31現在)

種 別	総数	朝来市	養父市	同意	朝来市	養父市	指導による同意	朝来市	養父市	不同意	朝来市	養父市
総 数	77	48	29	53	34	19	24	14	10			
《工 事 別》												
新 築	62	42	20	44	30	14	18	12	6			
増 築	13	5	8	9	4	5	4	1	3			
改 築	1	1					1	1				
移 転												
修 繕												
模様替												
用途変更	1		1				1		1			
《構 造 別》												
耐火構造	14	7	7	3	2	1	11	5	6			
準耐火構造	12	7	5	7	4	3	5	3	2			
その他	51	34	17	43	28	15	8	6	2			

消防教室実施状況

(H26.3.31現在)

実施区分		対 象 数			参加人員			時 間			消 防 職 員		
		合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市
総 数		283	170	113	12,779	7,806	4,973	412:47	237:02	175:45	738	425	313
地 区		37	28	9	1,537	1,329	208	47:25	36:05	11:20	68	51	17
婦 人 会		1	1		25	25		1:00	1:00		1	1	
老 人 会		2	2		50	50		2:30	2:30		2	2	
P T A		18	8	10	673	275	398	27:40	9:15	18:25	38	13	25
学 校		64	37	27	5,711	3,238	2,473	101:12	57:12	44:00	231	146	85
幼・保 育 所		26	14	12	1,217	703	514	27:25	16:50	10:35	102	43	59
事業所	公共施設	15	9	6	284	194	90	29:40	14:10	15:30	28	14	14
	病院・福祉施設	61	34	27	2,070	1,101	969	61:25	30:55	30:30	129	70	59
	旅館・ホテル	8	2	6	96	32	64	12:55	3:55	9:00	16	4	12
	店舗等	7	5	2	273	245	28	11:30	7:45	3:45	17	13	4
	工場等	17	13	4	331	256	75	28:05	22:05	6:00	31	22	9
消 防 団		8	2	6	185	67	118	23:25	6:00	17:25	30	9	21
そ の 他		19	15	4	327	291	36	38:35	29:20	9:15	45	37	8

危険物施設数及び立入検査回数

(H26.3.31現在)

危険物施設		総 数	朝 来 市					養 父 市					立入検査 回数	
			小 計	生 野	和 田 山	山 東	朝 来	小 計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	朝 来 署	養 父 署
総 数		353	167	39	78	27	23	186	67	32	13	74	124	140
製 造 所		3	2	2				1		1			2	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	32	17	8	7	1	1	15	9	2	2	2	1	4
	屋外タンク貯蔵所	39	30	10	8	7	5	9	3			6	12	6
	屋内タンク貯蔵所	17	7	4	2	1		10	7	1		2		7
	地下タンク貯蔵所	118	39	4	24	7	4	79	19	9	5	46	40	63
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1							1	
	移動タンク貯蔵所	23	13	1	4	3	5	10	4	3		3	12	12
	屋 外 貯 蔵 所	4	4	2	2								4	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	56	26	2	16	4	4	30	14	8	3	5	26	23
	一 般 取 扱 所	60	28	6	15	3	4	32	11	8	3	10	26	24

危険物施設設置許可数及び変更許可の状況

(H26.3.31現在)

危 険 物 施 設	総 数	変 更 許 可										設 置 許 可	
		構造に 関するもの		付属機器に 関するもの		配管に 関するもの		タンクに 関するもの		その他			
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	24	2	3	10	3	2	1			1		2	
製 造 所	1				1								
屋 内 貯 蔵 所	1											1	
屋外タンク貯蔵所	1					1							
屋内タンク貯蔵所	1			1									
地下タンク貯蔵所	1		1										
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所	2									1		1	
屋 外 貯 蔵 所													
給 油 取 扱 所	6	2	1	2			1						
一 般 取 扱 所	11		1	7	2	1							

市別・数量別危険物施設数

(H26.3.31現在)

危険物施設	総 数	5倍以上		5倍を越え 10倍以下		10倍を越え 50倍以下		50倍を越え 100倍以下		100倍を越え 200倍以下		200倍を 越えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	353	79	60	34	50	28	55	7	10	11	8	8	3
製 造 所	3					1		1	1				
貯 蔵 所	234	63	43	25	39	19	38	2	3	2			
屋 内 貯 蔵 所	32	10	7	5	4	1	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	39	7	3	8		12	6	2		1			
屋内タンク貯蔵所	17	4	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	118	26	19	9	29	4	30		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	23	13	10										
屋 外 貯 蔵 所	4	2				2							
取 扱 所	116	16	17	9	11	8	17	4	6	9	8	8	3
給油取扱所(営業用)	37		1					3	5	9	8	8	3
給油取扱所(自家用)	19	3	2	1	2	2	9						
一 般 取 扱 所	60	13	14	8	9	6	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

(H26.3.31現在)

危険物施設	総 数	1 類		2 類		3 類		4 類		5 類		6 類		混 在	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	353				2			165	182	1	1			1	1
製 造 所	3							2							1
貯 蔵 所	234				1			110	121		1				1
屋 内 貯 蔵 所	32				1			16	13		1				1
屋外タンク貯蔵所	39							30	9						
屋内タンク貯蔵所	17							7	10						
地下タンク貯蔵所	118							39	79						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	23							13	10						
屋 外 貯 蔵 所	4							4							
取 扱 所	116				1			53	61	1					
給油取扱所(営業用)	37							20	17						
給油取扱所(自家用)	19							6	13						
一 般 取 扱 所	60				1			27	31	1					

各種届出等受理状況

届 出 別		地 域 別 合 計	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任(解任)届出書		132	78	54
消防計画届出書		189	107	82
消防用設備等着工届出書		54	28	26
消防用設備等工事計画届出書		39	22	17
消防用設備等設置届出書		133	76	57
消防用設備等緩和願		4	4	
消防用設備等点検結果報告書		488	244	244
防火対象物定期点検結果報告書		41	20	21
防火自主点検結果報告書		3		3
防火対象物使用開始届出書		64	38	26
火を使用する 設備等の設置 届出書	熱風炉			
	炉・かまど	1		1
	ボイラー・給湯湯沸設備	10	8	2
	乾燥設備	3	3	
	サウナ設備	1	1	
	温風暖房機	1		1
電気設備 設置届出書	変電設備	22	13	9
	発電設備	6	4	2
	蓄電池設備	19	14	5
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		5	5	
合 計		1,215	665	550

警 防 編

警
防
編

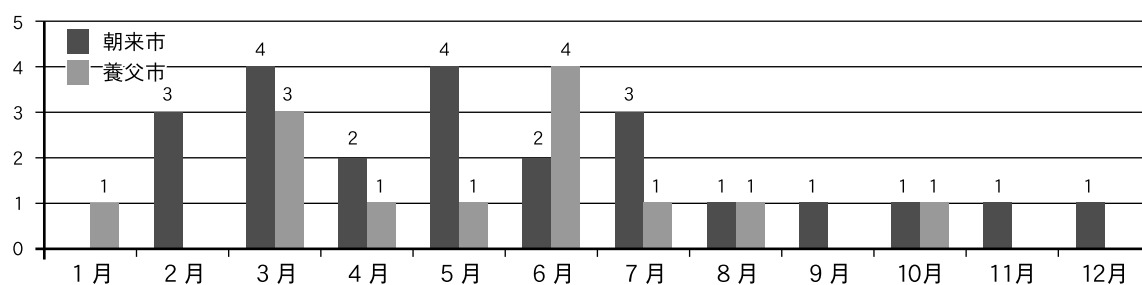
年次別火災発生状況

区 分		年 別	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
出火件数	総 数		27	29	34	37	36
	小 計		11	18	16	19	23
	朝来市	建 物 火 災	9	11	7	12	7
		林 野 火 災			3	2	3
		車 両 火 災	1	3	2	1	2
		その他の火災	1	4	4	4	11
	小 計		16	11	18	18	13
	養父市	建 物 火 災	7	6	8	13	4
		林 野 火 災	1	1	1		2
		車 両 火 災		1	3	3	2
		その他の火災	8	3	6	2	5
焼損棟数	総 数		17	25	17	32	14
	小 計		10	17	8	15	9
	朝来市	全 焼	2	6	2	3	4
		半 焼	3	1	1	2	1
		部 分 焼	3	2	2	4	
		ば や	2	8	3	6	4
	小 計		7	8	9	17	5
	養父市	全 焼	1	2	4	3	2
		半 焼	2	1	1	5	1
		部 分 焼	2	4	1	3	2
		ば や	2	1	3	6	
焼損面積	総数	建 物【㎡】	1,514	1,409	1,252	1,924	967
		林 野 (a)	11		804	3	33
	朝来市	建 物【㎡】	941	1,311	532	754	595
		林 野 (a)			4	3	26
	養父市	建 物【㎡】	573	98	720	1,170	372
		林 野 (a)	11	0	800		7

区 分 \ 年 別		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
り 災 世 帯	総 数	7	17	16	18	4
	小 計	3	10	7	8	3
	朝 来 市	全 損	4	1	1	2
		半 損	1	1	1	
		小 損	2	5	6	1
	小 計	4	7	9	10	1
	養 父 市	全 損	1		4	
		半 損	1	3	3	1
		小 損	2	4	4	
り 災 人 員	総 数	23	45	44	54	7
	朝 来 市	11	29	19	23	5
	養 父 市	12	16	25	31	2
損 害 額 (千円)	総 数	127,627	67,442	91,452	144,098	38,753
	小 計	49,149	48,818	59,316	70,172	34,957
	朝 来 市	建 物	49,020	48,238	59,252	33,621
		林 野			0	556
		車 両	129	535	63	190
		そ の 他	0	45	1	590
	小 計	78,478	18,624	32,136	73,926	3,796
	養 父 市	建 物	78,114	18,604	18,168	3,404
		林 野	349	0	12,500	30
		車 両		0	493	273
		そ の 他	15	20	975	89
死 傷 者	総 数	死 者	3	2	3	
		負 傷 者	3	4	7	4
	朝 来 市	死 者	1	1		
		負 傷 者			1	3
	養 父 市	死 者	2	1	3	
		負 傷 者	3	4	6	1

月別火災発生状況

種 別 \ 月 別		総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		36	1	3	7	3	5	6	4	2	1	2	1	1
朝 来 市	小 計	23		3	4	2	4	2	3	1	1	1	1	1
	建物火災	7		2	1			1	1		1		1	
	林野火災	3				1	1					1		
	車両火災	2				1			1					
	その他の火災	11		1	3		3	1	1	1				1
養 父 市	小 計	13	1		3	1	1	4	1	1		1		
	建物火災	4	1		1		1	1						
	林野火災	2				1		1						
	車両火災	2								1		1		
	その他の火災	5			2			2	1					

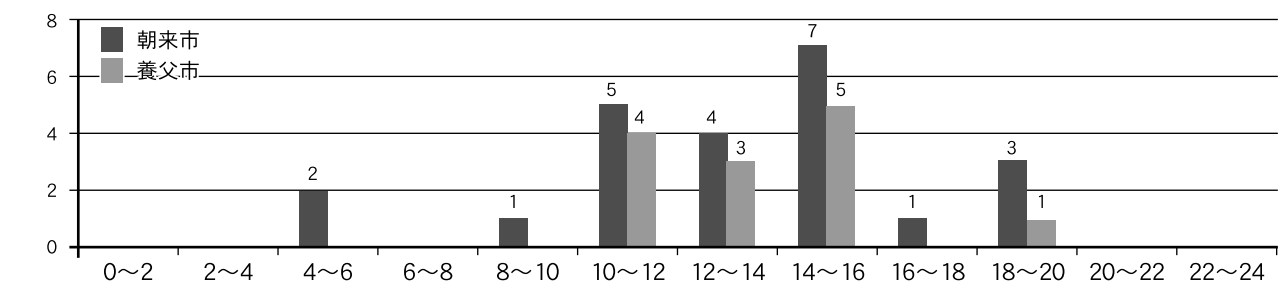


曜日別火災発生状況

種 別 \ 曜 日 別		総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		36	2	5	6	5	9	4	5
朝 来 市	小 計	23	1	4	3	4	5	2	4
	建物火災	7	1		1	1	3		1
	林野火災	3		1				1	1
	車両火災	2			1				1
	その他の火災	11		3	1	3	2	1	1
養 父 市	小 計	13	1	1	3	1	4	2	1
	建物火災	4		1	1	1	1		
	林野火災	2					1	1	
	車両火災	2	1				1		
	その他の火災	5			2		1	1	1

時間別火災発生状況

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		36			2		1	9	7	12	1	4		
朝 来 市	小 計	23			2		1	5	4	7	1	3		
	建物火災	7			1				1	4	1			
	林野火災	3						1	1	1				
	車両火災	2			1			1						
	その他の火災	11					1	3	2	2		3		
養 父 市	小 計	13						4	3	5		1		
	建物火災	4							2	2				
	林野火災	2						1				1		
	車両火災	2						1		1				
	その他の火災	5						2	1	2				



使用した消防水利

消防水利	平成24年	平成25年				
		総 数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
総 数	22	19	5	3	3	8
自然水利	5	4	2	1		1
防火水槽	2					
消 火 栓	7	2	1	1		
積載水等	8	13	2	1	3	7

(事後聞知 5 件、放水なし12件除く)

覚知から現場到着までの所要時間

時間別 地域別		総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平 均
総 数		31		8	15	3	5	14.1
朝 来 市	小 計	19		6	10	1	2	12.8
	生 野	3		2	1			10.3
	和 田 山	10		3	5	1	1	13.1
	山 東	2		1	1			10.5
	朝 来	4			3		1	15.3
養 父 市	小 計	12		2	5	2	3	16.0
	八 鹿	5		1	2	2		14.6
	養 父	1			1			14.0
	大 屋	3		1	1		1	14.0
	関 宮	3			1		2	21.0

(事後聞知 5 件除く)

放水開始から鎮火までの所要時間

時間別 地域別		総 数	5分 以内	6分～ 10分	11分～ 20分	21分～ 30分	31分～ 40分	41分～ 50分	51分～ 60分	61分 以上	平均
総 数		19	6	2	3	2	2			4	32.1
朝 来 市	小 計	12	4	1		2	1			4	42.6
	生 野	2					1			1	76.0
	和 田 山	8	2	1		2				3	44.5
	山 東										
	朝 来	2	2								1.5
養 父 市	小 計	7	2	1	3		1				14.1
	八 鹿	3	2	1							4.3
	養 父										
	大 屋	3			2		1				22.3
	関 宮	1			1						19.0

(事後聞知 5 件、放水なし12件除く)

出 火 原 因

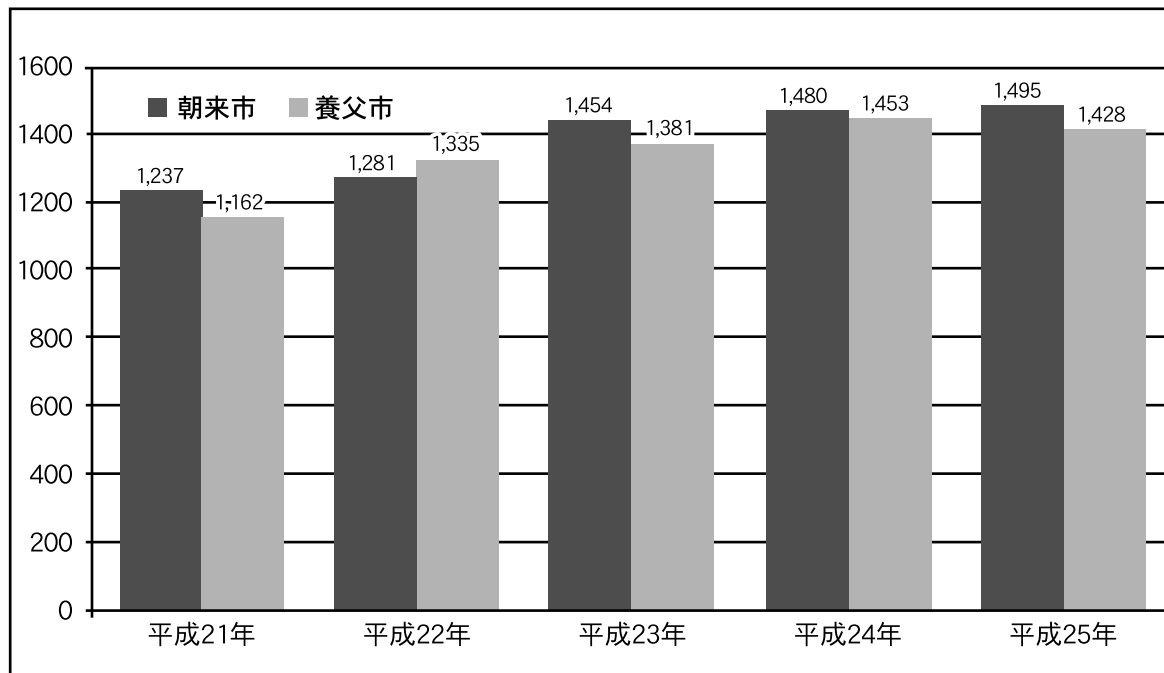
区 分		平 成 2 5 年					平 成 2 4 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		36	11	5	4	16	37	25	2	4	6
裸 火	タ バ コ						2	1			1
	マッチ・ライター										
	焼 却 火	13	1	3		9	5	1	1		3
	火 入 れ	2		1		1					
	ロ ー ソ ク						1	1			
人 的	火 あ そ び	1	1				1		1		
	放火(放火の疑い)	2	1	1			4	3		1	
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ	1	1								
	こ ん ろ	2	2				1	1			
	風 呂 か ま ど						2	2			
	石 油 機 器										
	ガ ス 機 器										
	内 燃 機 関										
電 気 関 係	ス ト ー ブ						1	1			
	こ ん ろ						1	1			
	こ た つ										
	静 電 気						1	1			
	配 線 等	2	1			1	2	2			
金属と金属の衝撃火花		2			2						
列車ブレーキの火花		3				3					
焼 却 炉		1	1				2	2			
取 灰							3	2			1
草 焼 き バ ー ナ ー		1				1	1				1
車 両	交 通 事 故										
	エ ン ジ ン						1			1	
	排 気 管	1			1		1			1	
	そ の 他						1			1	
他	不 明	4	3		1		5	5			
	そ の 他	1				1	2	2			

用途別火災発生状況

用途別		区分	火災発生件数 (件)	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)	焼 損 棟 数 (棟)	死 傷 者	
				建 物				死 者 (人)	負 傷 者 (人)
				床面積 (㎡)	表面積 (㎡)				
総 数			36	967	238	38,753	14		4
建 物 火 災	住 宅		4	300	15	15,000	6		1
	遊 技 場								
	飲 食 店		1			10	1		
	店 舗								
	旅 館・ホ テ ル								
	病院・福祉施設								
	学 校		1		1	11	1		
	神 社 ・ 寺 院								
	工 場 ・ 作 業 場		2	376		19,302	2		1
	倉 庫		2	291	222	2,701	3		
	車 庫								
	養鶏舎・養畜舎								
	事務所・官公署								
	そ の 他		1			1	1		
林 野 火 災			5			586			
車 両 火 災			4			463			
そ の 他 の 火 災	田 畑		6			205			2
	空 地		3			0			
	軌 道 敷		3			0			
	河 川 敷		2			0			
	そ の 他		2			474			

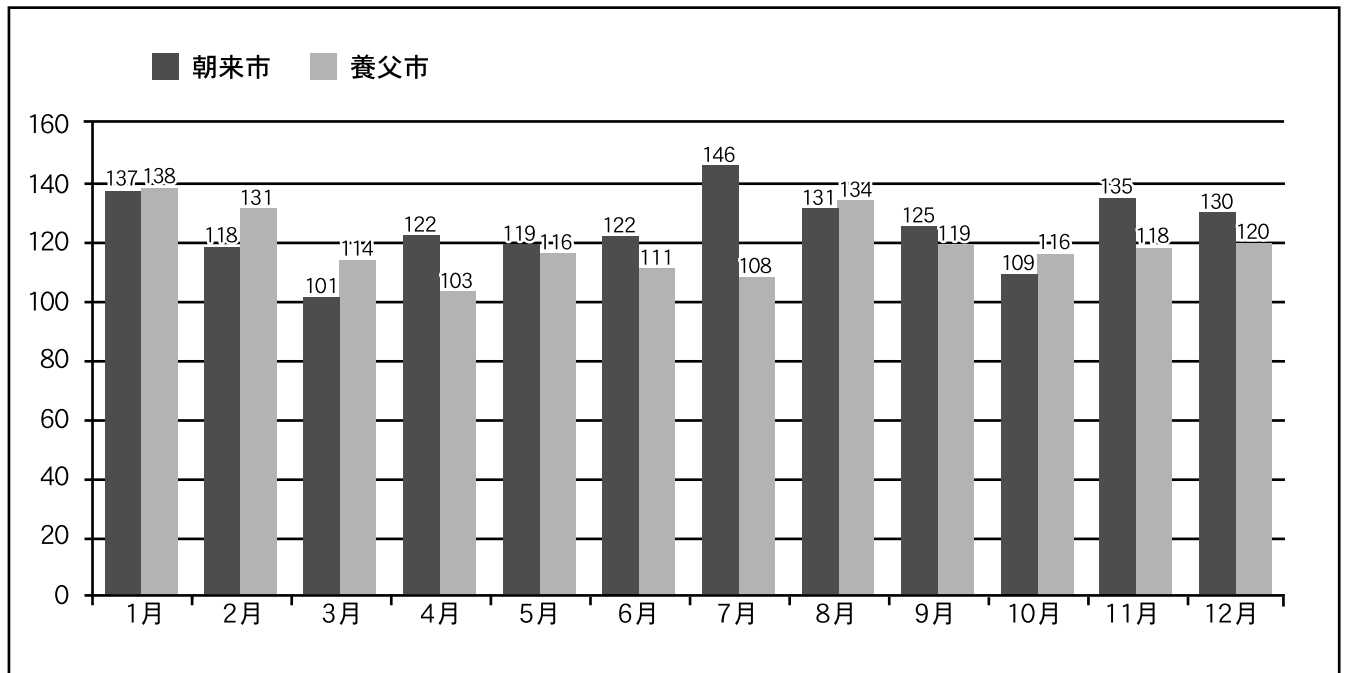
年次別救急件数

種 別 \ 年別		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総 数		2,402	2,619	2,839	2,935	2,929
朝来市	小計	1,237	1,281	1,454	1,480	1,495
	交通事故	127	151	165	142	179
	一般負傷	213	216	238	254	219
	急病	737	741	845	903	909
	転院搬送	111	109	139	111	109
	その他	49	64	67	70	79
養父市	小計	1,162	1,335	1,381	1,453	1,428
	交通事故	129	155	106	102	111
	一般負傷	191	194	229	183	206
	急病	582	675	693	765	795
	転院搬送	222	237	268	300	208
	その他	38	74	85	103	108
管外	小計	3	3	4	2	6



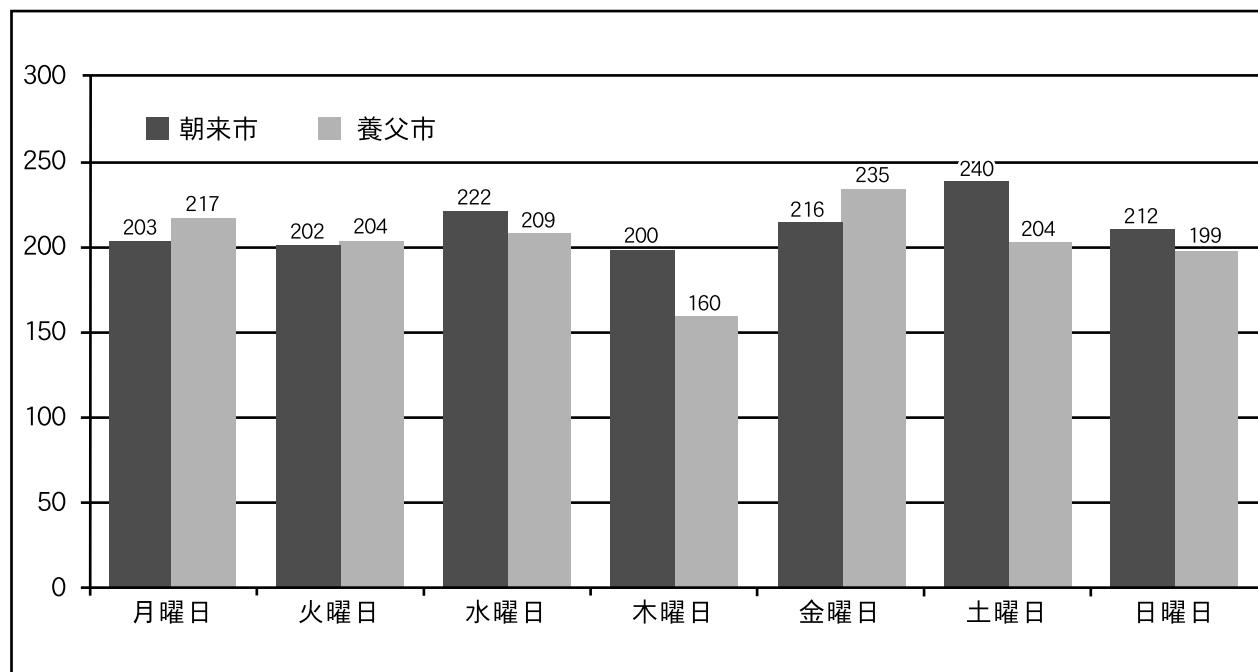
月別救急件数

種 別 \ 月 別		総 数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数		2,929	275	249	216	225	235	233	254	267	244	228	253	250
朝 来 市	小計	1,495	137	118	101	122	119	122	146	131	125	109	135	130
	交通事故	179	15	15	13	13	15	19	12	14	26	7	17	13
	一般負傷	219	19	12	15	21	16	13	20	23	18	16	22	24
	急病	909	82	73	59	71	74	74	93	80	69	75	79	80
	転院搬送	109	12	11	8	9	10	8	10	6	7	5	13	10
	その他	79	9	7	6	8	4	8	11	8	5	6	4	3
養 父 市	小計	1,428	138	131	114	103	116	111	108	134	119	116	118	120
	交通事故	111	14	11	3	3	10	9	13	3	22	8	14	1
	一般負傷	206	26	15	17	14	18	20	13	20	12	16	22	13
	急病	795	73	78	72	61	68	52	59	72	56	66	58	80
	転院搬送	208	20	20	17	16	11	14	16	25	19	16	16	18
	その他	108	5	7	5	9	9	16	7	14	10	10	8	8
管外	小計	6			1					2		3		



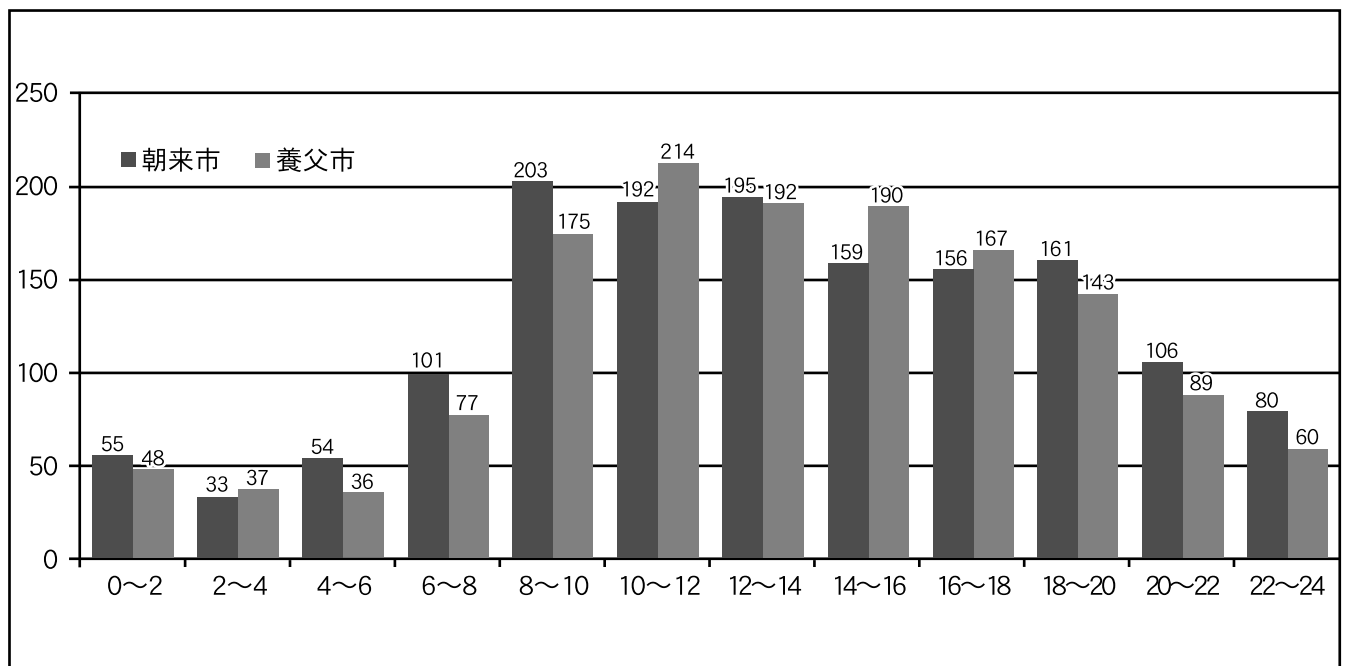
曜日別救急件数

種 別 \ 曜日別		総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		2,929	420	406	431	362	451	444	415
朝 来 市	小計	1,495	203	202	222	200	216	240	212
	交通事故	179	24	19	26	17	31	49	13
	一般負傷	219	22	36	36	25	24	35	41
	急病	909	124	118	130	131	131	133	142
	転院搬送	109	22	19	17	14	17	14	6
	その他	79	11	10	13	13	13	9	10
養 父 市	小計	1,428	217	204	209	160	235	204	199
	交通事故	111	19	16	17	12	22	13	12
	一般負傷	206	29	25	20	25	31	39	37
	急病	795	113	111	123	91	133	112	112
	転院搬送	208	39	39	36	24	35	22	13
	その他	108	17	13	13	8	14	18	25
管外	小計	6				2			4



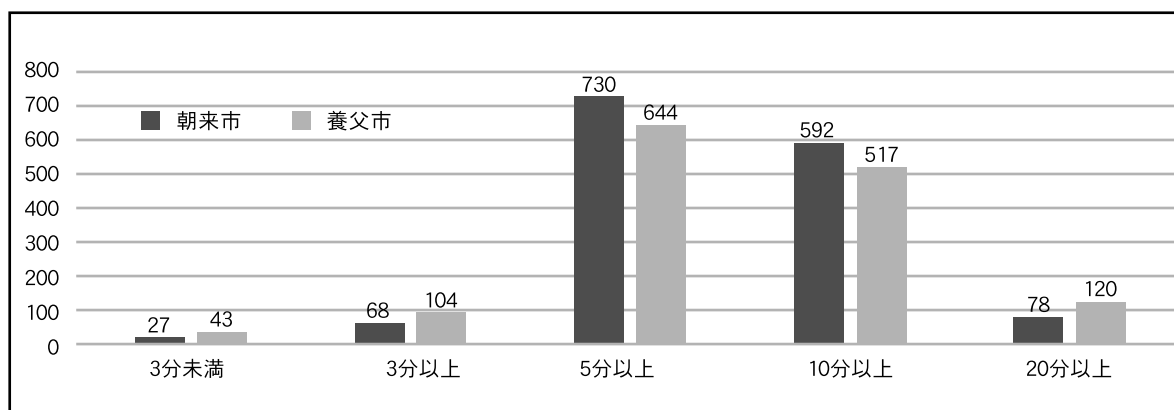
時間別救急件数

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		2,929	103	70	90	178	378	406	390	350	323	304	197	140
朝 来 市	小 計	1,495	55	33	54	101	203	192	195	159	156	161	106	80
	交通事故	179	2	4	2	15	23	16	19	25	30	31	7	5
	一般負傷	219	12	4	8	18	34	22	33	22	21	21	19	5
	急病	909	39	25	41	66	114	101	112	94	81	95	77	64
	転院搬送	109			1	1	19	35	18	6	14	11	2	2
	その他	79	2		2	1	13	18	13	12	10	3	1	4
養 父 市	小 計	1,428	48	37	36	77	175	214	192	190	167	143	89	60
	交通事故	111		2		16	15	11	13	13	8	24	6	3
	一般負傷	206	3	2	5	12	29	28	26	36	26	19	16	4
	急病	795	41	30	30	46	90	101	93	94	84	82	60	44
	転院搬送	208	4	3	1	2	24	43	41	30	33	16	4	7
	その他	108				1	17	31	19	17	16	2	3	2
管外	小 計	6							3	1			2	



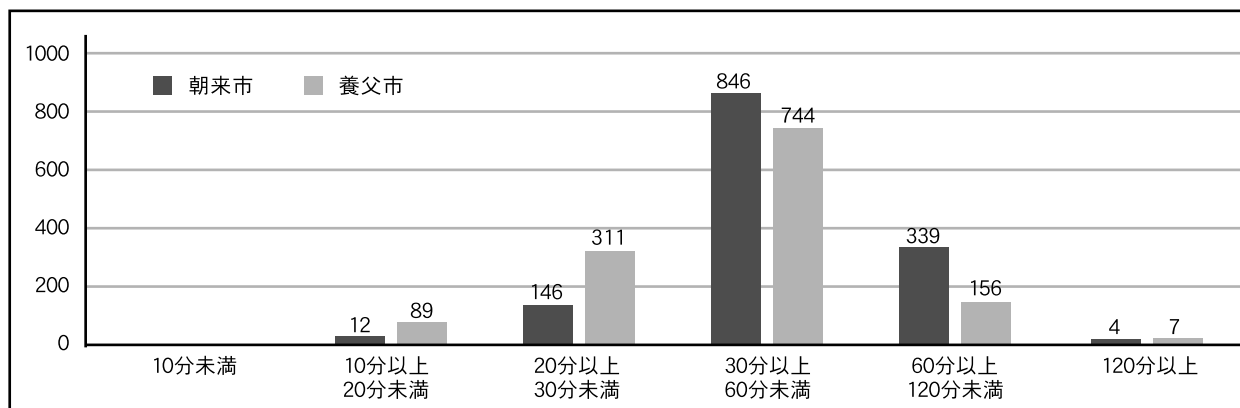
覚知から現場到着までの所要時間状況

市 別 \ 時間別	総 数	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	現場到着 平均所要
総数	2,929	70	172	1,374	1,113	200	10.2
朝来市	1,495	27	68	730	592	78	10.0
養父市	1,428	43	104	644	517	120	10.4
管外	6				4	2	20.6



覚知から医療機関収容までの所要時間状況

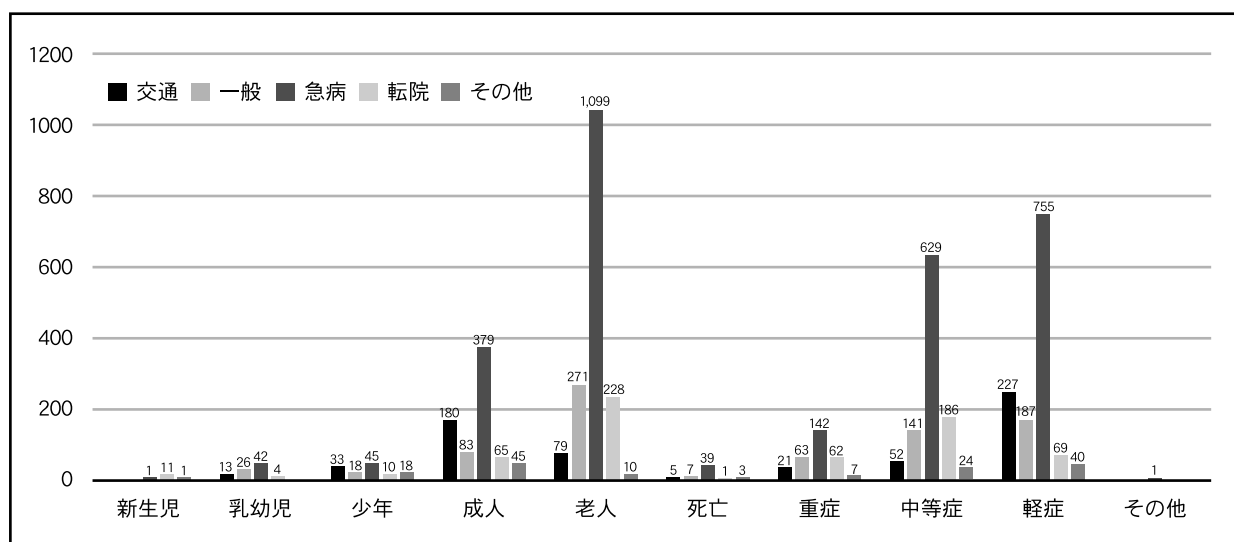
市 別 \ 時間別	総 数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総数	2,661		101	457	1,595	495	13	44.9
朝来市	1,347		12	146	846	339	4	49.0
養父市	1,307		89	311	744	156	7	40.4
管外	7				5		2	73.4



年齢・傷病程度別搬送人員

種別 \ 区分	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総 数	13	85	124	752	1,687	55	295	1,032	1,278	1
交 通 事 故		13	33	180	79	5	21	52	227	
一 般 負 傷		26	18	83	271	7	63	141	187	
急 病	1	42	45	379	1,099	39	142	629	755	1
転 院 搬 送	11	4	10	65	228	1	62	186	69	
そ の 他	1		18	45	10	3	7	24	40	

※ 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症…入院加療を必要としないもの
 その他…医師の診断のないもの



ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

種別 \ 月別	総 数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数	838	57	51	38	68	78	72	82	85	63	77	82	85
交 通 事 故	102	6	10	4	6	6	11	14	11	14	3	12	5
一 般 負 傷	86	9		3	5	9	6	12	7	5	13	8	9
急 病	589	37	37	29	52	59	49	48	56	41	58	56	67
転 院 搬 送	24	1			2	1		4	5	3	1	3	4
そ の 他	37	4	4	2	3	3	6	4	6		2	3	

医療機関別・事故種別搬送状況

医療施設		種 別	総 数	比率(%)	交通	一般	急病	転院	その他
総 数			2,661	100%	305	398	1,566	318	74
管内	小 計		1,623	61.0%	130	247	1,040	173	33
	病 院	八 鹿 病 院	1,367	51.4%	100	156	931	154	26
		和田山医療センター	227	8.5%	30	88	91	13	5
		その他の病院	15	0.6%			10	5	
	診 療 所 等		11	0.4%		3	8		
	そ の 他		3	0.1%				1	2
管外	小 計		1,038	39.0%	175	151	526	145	41
	病 院	豊 岡 病 院 (ドクターヘリ含む)	842	31.6%	151	116	408	133	34
		神崎総合病院	123	4.6%	16	26	77		4
		その他の病院	72	2.7%	8	8	41	12	3
	診 療 所 等		1	0.1%		1			

※ドクターヘリで搬送した場合は豊岡病院への搬送として集計しています。

医療機関別・市種別搬送状況

医療施設		市 別	総 数	朝 来 市	比率(%)	養 父 市	比率(%)	管 外
総 数			2,661	1,347	100%	1,307	100%	7
朝来市内医療機関	小 計		245	196	14.6%	49	3.7%	
	和田山医療センター		227	176	13.3%	48	3.6%	
	そ の 他 の 病 院		12	11	0.8%	1	0.1%	
	診 療 所 等		4	4	0.3%			
	そ の 他		2	2	0.1%			
養父市内医療機関	小 計		1,378	497	36.8%	877	67.2%	4
	八 鹿 病 院		1,363	494	36.6%	869	66.5%	4
	そ の 他 の 病 院		3			3	0.2%	
	診 療 所 等		7	3	0.2%	4	0.4%	
	そ の 他		1			1	0.1%	
管外	小 計		1,038	654	48.6%	381	29.1%	3
	豊岡病院(ドクターヘリ含む)		839	466	34.6%	373	28.5%	3
	神崎総合病院		123	122	9.0%	1	0.1%	
	そ の 他 の 病 院		72	65	4.9%	7	0.5%	
	診 療 所 等		1	1	0.1%			

救急隊の行った応急処置状況

処置 種別	総数	固定	酸素 吸入	心肺 蘇生	血圧 測定	血中 酸素	心電図	除細動	静脈路 確保	薬剤 投与	器具による 気道確保	その他
総数	11,170	471	843	72	2,457	2,550	1,812	13	22	16	50	2,864
交通事故	1,381	240	83	5	268	281	145	1	1	1	3	353
一般負傷	1,699	153	74	8	371	384	194		4	3	6	502
急病	6,605	40	535	53	1,486	1,517	1,226	12	16	12	36	1,672
その他	1,485	38	151	6	332	368	247		1		5	337

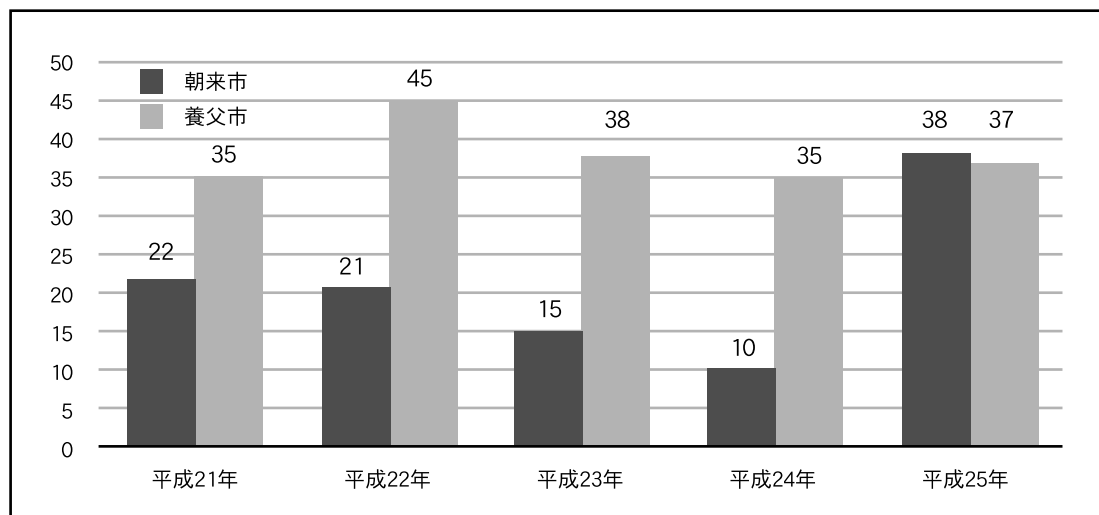
普通救命講習実施状況

区分	受講回数	受講者数
学校関係	12回	198人
事業所等	18回	232人
消防団	8回	179人
市職員	2回	21人
その他	7回	60人
総数	47回	690人



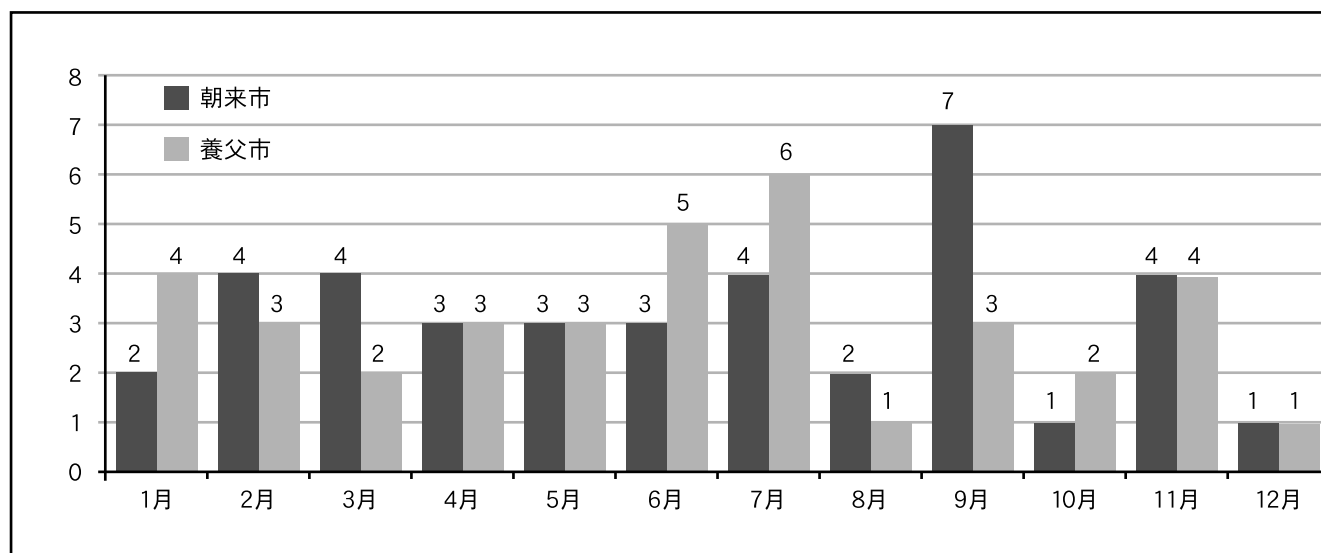
年次別救助件数

種別 \ 年別		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総 数		57	66	53	45	75
朝来市	小 計	22	21	15	10	38
	火 災	1				
	交 通 事 故	9	12	10	5	28
	水 難 事 故	1	1			1
	自 然 災 害	5	1			
	機械による事故	2		2		1
	建物等による事故					1
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	4	7	3	5	7
養父市	小 計	35	45	38	35	37
	火 災	1		3	4	
	交 通 事 故	26	26	23	21	19
	水 難 事 故				1	1
	自 然 災 害	1				1
	機械による事故		2	2	2	
	建物等による事故					
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	7	17	10	7	16



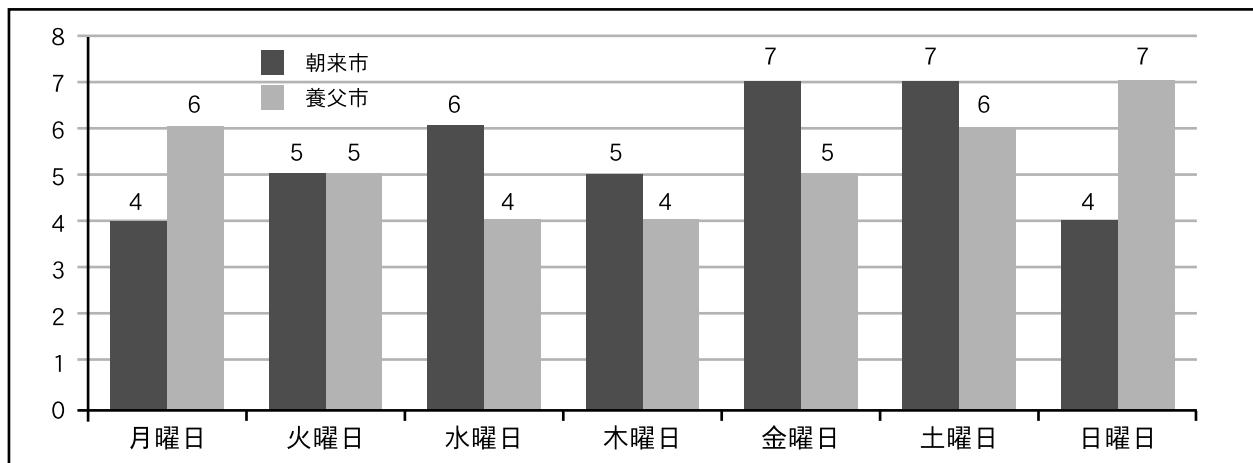
月別救助件数

種別		月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数			75	6	7	6	6	6	8	10	3	10	3	8	2
朝 来 市	小 計		38	2	4	4	3	3	3	4	2	7	1	4	1
	火 災														
	交 通 事 故		28	1	4	2	3	2	2	2	2	5	1	3	1
	水 難 事 故		1							1					
	自 然 災 害														
	機械による事故		1					1							
	建物等による事故		1									1			
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		7	1		2			1	1		1		1	
養 父 市	小 計		37	4	3	2	3	3	5	6	1	3	2	4	1
	火 災														
	交 通 事 故		19	3	2	1	1	1	2	3		2	1	3	
	水 難 事 故		1							1					
	自 然 災 害		1							1					
	機械による事故														
	建物等による事故														
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		16	1	1	1	2	2	3	1	1	1	1	1	1



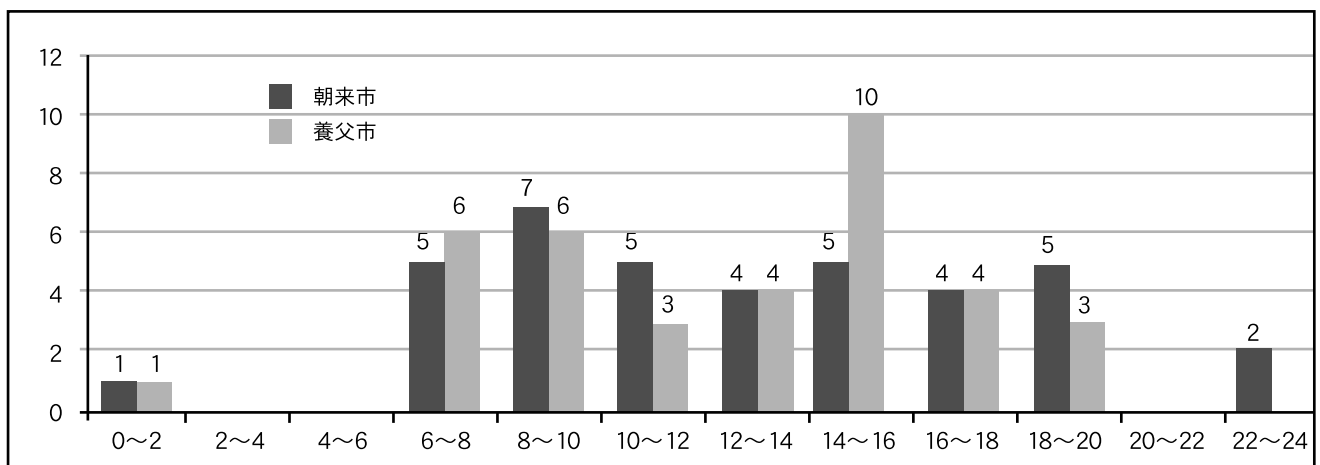
曜日別救助件数

種別 \ 曜日別		総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		75	10	10	10	9	12	13	11
朝 来 市	小 計	38	4	5	6	5	7	7	4
	火 災								
	交 通 事 故	28	3	3	3	3	7	7	2
	水 難 事 故	1			1				
	自 然 災 害								
	機械による事故	1			1				
	建物等による事故	1			1				
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	7	1	2		2			2
養 父 市	小 計	37	6	5	4	4	5	6	7
	火 災								
	交 通 事 故	19	3	2	3	1	4	3	3
	水 難 事 故	1		1					
	自 然 災 害	1	1						
	機械による事故								
	建物等による事故								
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	16	2	2	1	3	1	3	4



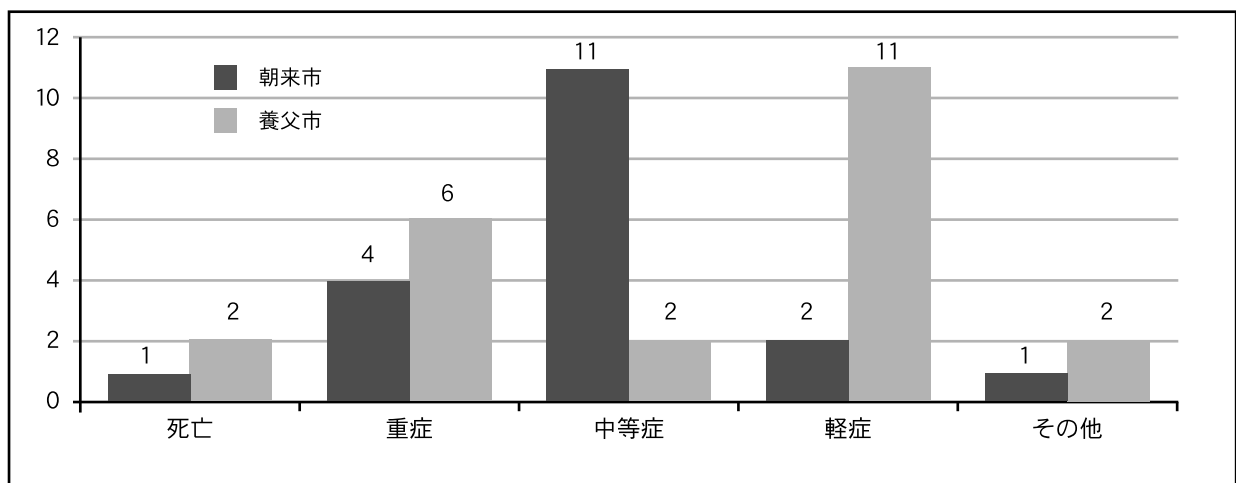
時間別救助件数

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		75	2			11	13	8	8	15	8	8		2
朝 来 市	小 計	38	1			5	7	5	4	5	4	5		2
	火 災													
	交 通 事 故	28	1			3	6	4	2	4	3	3		2
	水 難 事 故	1							1					
	自 然 災 害													
	機械による事故	1										1		
	建物等による事故	1									1			
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	7				2	1	1	1	1		1		
養 父 市	小 計	37	1			6	6	3	4	10	4	3		
	火 災													
	交 通 事 故	19				6	1	1	1	7		3		
	水 難 事 故	1								1				
	自 然 災 害	1					1							
	機械による事故													
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	16	1				4	2	3	2	4			



事故種別・傷病程度別状況

種 別 \ 傷病程度		救 助 人 員					
		総 数	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
総 数		42	3	10	13	13	3
朝 来 市	小 計	19	1	4	11	2	1
	火 災						
	交 通 事 故	13	1	4	6	2	
	水 難 事 故						
	風 水 害						
	機械による事故	1			1		
	建物等による事故	1					1
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	4			4		
養 父 市	小 計	23	2	6	2	11	2
	火 災						
	交 通 事 故	16	1	5	2	8	
	水 難 事 故						
	風 水 害	1					1
	機械による事故						
	建物等による事故						
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	6	1	1		3	1



気象観測状況

区 分		年 間	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
気温 (℃)	平 均	14.0	1.9	2.8	7.8	11.1	17.3	22.2	26.1	26.7	21.4	17.1	9.5	4.0
	最 高	36.8	11.2	16.5	23.7	26.8	32.8	32.7	36.8	36.6	33.5	30.5	21.3	15.4
	最 低	−6.0	−6.0	−4.6	−4.3	−1.3	3.9	11.4	19.2	16.4	10.5	7.8	−1.2	−5.0
相対 湿度 (%)	平 均	72.2	78.2	78.2	65.7	65.0	62.4	68.9	71.9	71.7	74.5	78.4	74.8	77.1
	最 高	93.8	93.5	93.3	92.9	92.7	90.6	90.5	91.2	90.8	92.1	92.7	92.9	93.8
	最 低	9.2	25.5	19.1	13.1	12.2	9.2	17.1	26.8	25.9	24.8	20.5	25.4	27.4
実効 湿度 (%)	平 均	72.2	77.9	78.5	66.2	65.4	62.2	68.6	71.3	72.1	75.0	77.5	76.0	75.7
	最 高	85.7	83.7	83.3	75.2	71.3	70.7	79.8	77.9	78.7	84.2	85.7	83.4	85.2
	最 低	52.5	68.4	70.8	57.0	55.9	52.5	59.1	65.9	62.2	65.3	68.3	64.5	64.5
平均 風速 m/s	平 均	1.7	1.4	1.6	2.2	2.1	2.1	1.6	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4
	最 高	11.4	8.7	9.4	10.9	10.6	8.6	7.6	8.2	7.8	11.4	9.8	8.0	8.6
天 候	晴	183	10	8	14	13	19	18	17	22	20	13	17	12
	くもり	116	15	13	15	11	5	7	11	7	4	11	5	12
	雨	55	1	2	2	6	7	5	3	2	6	7	8	6
	雪	11	5	5										1
降水量 (mm)	降水量	1,849.0	99.0	90.5	66.0	91.0	39.0	117.5	148.0	166.0	462.5	297.5	97.0	175.0
	最高/日	129.0	28.5	19.0	21.5	22.0	19.0	47.0	33.5	43.5	129.0	93.0	17.0	42.5
	降水日	146	16	14	11	13	9	11	16	10	12	15	13	6
積雪 (cm)	最深積雪	18	13	14										18
	積雪日	21	8	8										5

消防用機器の配置状況

平成26年 3 月31日現在

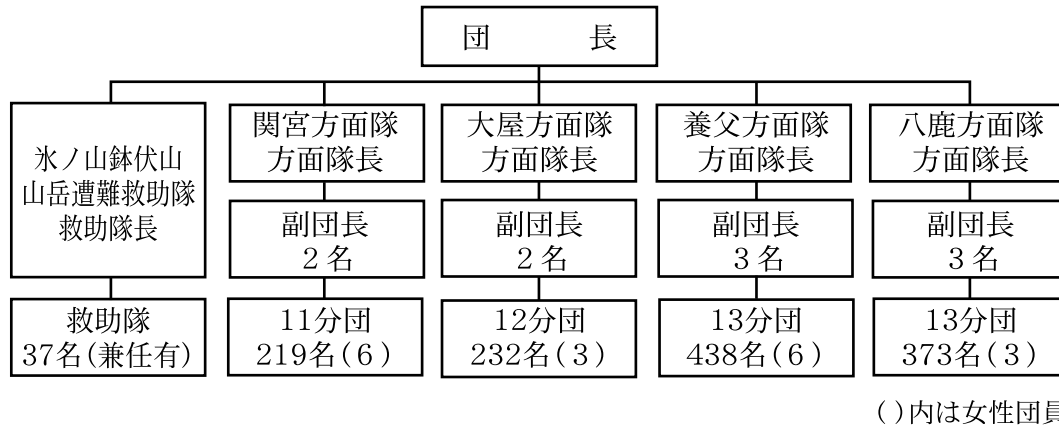
名 称		朝来署	養父署	名 称		朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設I型	1		救 助 資 材	耐熱服	2	2
	119番専用回線(携帯等含)	8回線			空気呼吸器	18	14
	C A T V 119番回線	5回線			エンジンカッター	2	1
	119番F A X 受信装置	1			エアークッター	2	1
	無線統制台	1			エッジローラー	1	2
	消防無線陸上移動局/車載	13	10		チルホール	4	2
	消防無線陸上移動局/携帯	13	14		チェーンソー	3	1
	フェニックス防災システム	1			ルーカスレスキューツール	1式	1式
	告知放送設備	4	1		マット型空気ジャッキ	1	1
消 防 資 機 材	ホース(65mm)	139	86	助 資 材	救助マット	1	1
	ホース(50mm)	165	249		緩降機	1	1
	C級可搬式ポンプ	2	1		送排風機	1	1
	D級可搬式ポンプ		1		救命索発射銃	1	1
	ジェットシューター	26	25		舟型担架	3	2
	高発泡器	1	2		スケッドストレッチャー	1	2
	組立式布水槽	3	2		ガス溶断機	1	1
	C A F S 薬剤		100ℓ		エアースー	1	1
					グラスソー	2	1
救 急 資 機 材	A E D(自動体外式除細動器)	7	2	機 材	化学防護服	3	
	半自動除細動器	4	3		防護服	5	4
	患者監視装置	4	3		防毒マスク	14	14
	パルスオキシメーター	5	3		マンホール救助器具	1式	1式
	喉頭鏡	6	4		電動鉄線カッター		1
	気管挿管セット	4	3		ガス測定器	2	2
	呼吸管理器具	6	3		車両移動器具		1
	自動式心マッサージ器	1	3		削岩機	1	1
	陰圧式固定具	4	4		酸素呼吸器		2
資 機 材	スクープストレッチャー	5	4	材	簡易画像探索器	1	1
	超微粒子噴霧消毒器		1		距離測定器		1
	バックボード	7	6		G P S ハンディナビ	1	3
	脊柱固定器具	7	6		ハンマードリル		1
	在宅療法セット	3	3		セイバーソー		1
	高度救急シミュレーター	2	2		エアータント	2式	1式
	静脈注射訓練モデル	1	1		ウェットスーツ I 式	5	6
	心肺蘇生訓練用人形	15	17		救命胴衣	11	35
	A E D トレーナー	10	7		救命浮輪	4	5
材	ショートボード	1	2		救助用ボート	1	1
					船外機	1	1

協 力 団 体

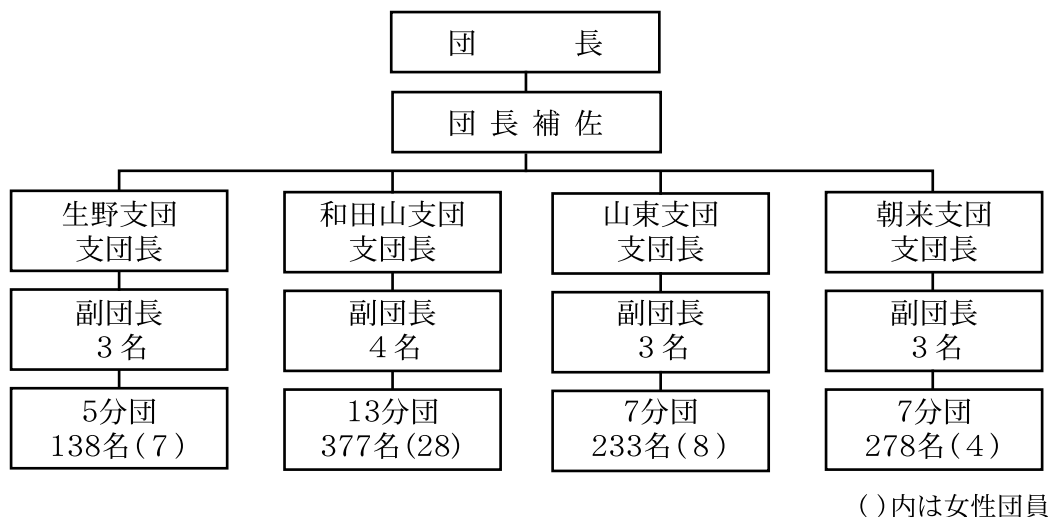
消 防 団

平成26年 4 月 1 日現在

● 養父市消防団組織図 （総員1,272名）



● 朝来市消防団組織図 （総員1,028名）



● 消防団との連携

消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実践的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

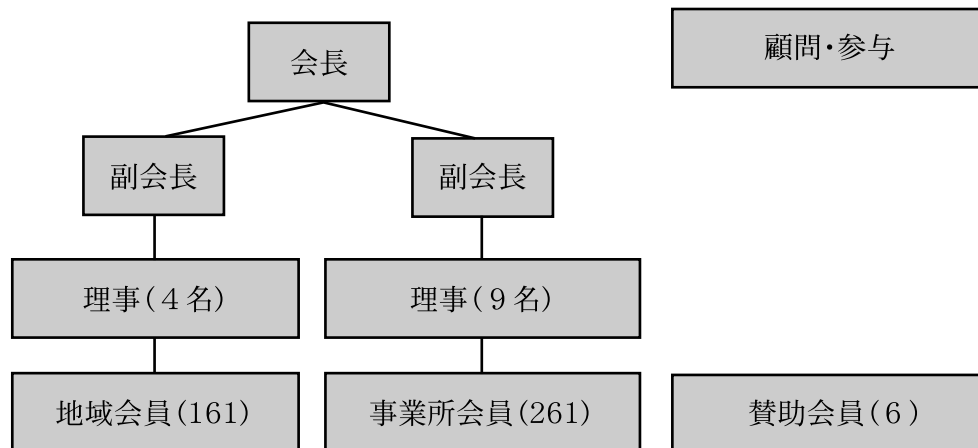
平成25年度消防団との合同訓練内容

	11月10日	大屋・生野出張所及び養父方面隊との合同消防訓練	長野(井ノ坪)
養 父 市	1月30日	大屋方面隊との文化財防火合同消防訓練	大屋町蔵垣
	3月18日	関宮方面隊との合同消防訓練	関宮町大谷
朝 来 市	11月 2日	和田山支団夜間消防合同訓練	和田山町秋葉台
	11月 3日	山東支団消防合同訓練	山東町溝黒
	11月13日	JR列車事故対応合同訓練(和田山支団)	JR和田山駅
	1月26日	赤湊神社文化財合同消防訓練(和田山支団)	和田山町枚田
	3月16日	生野・朝来支団林野火災訓練	生野町栃原

朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

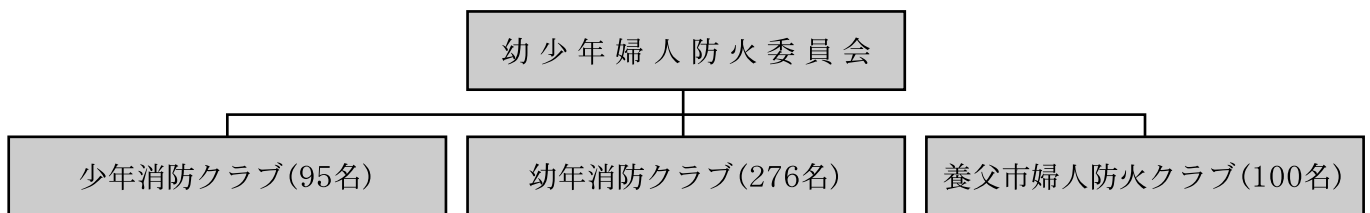
(H26.5.21現在)



養父市幼少年婦人防火クラブの現況

防火クラブ組織図

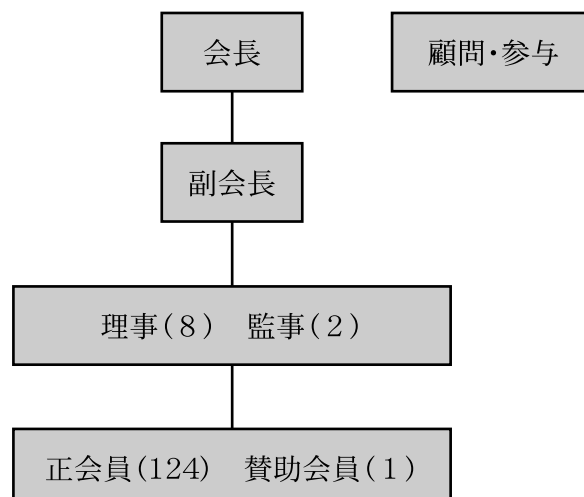
(H26.4.1現在)



南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(H26.5.16現在)





竹田城跡(朝来市)



氷ノ山(養父市)

養父市・朝来市の安全をめざして

(住宅用火災警報器を設置しましょう)

＝ 消防年報 第2号 ＝

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

TEL (079) 672-0119

FAX (079) 672-5046

Email nantan-fd@nantan.hyogo.jp

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>



「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。